



## 広島修道大学 入学センター

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

**TEL.082-830-1100**

ホームページ <https://www.shudo-u.ac.jp>

入試情報サイト <https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>



◀こちらからアクセス可能です。

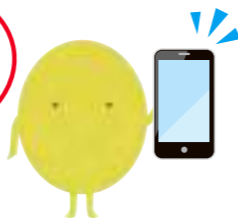
※対応できない機種もありますのでご注意ください。

HIROSHIMA  
**SHUDO**  
UNIVERSITY

# 入学試験要項2025

# 入試情報サイト

受験生は  
必ずチェック!



入試情報サイトでは、受験生の皆さんに必要な情報をタイムリーに更新しています。  
入試対策、イベント情報、重要なお知らせなどを公開しますので、随時ご確認ください。



## 出願も入試情報サイトから

インターネット出願は入試情報サイトからのログインが必要です。  
出願方法、出願書類、入試Q&Aなど、出願期間が始まる前から時間に余裕をもって確認しましょう。



## WEB入試対策コンテンツ

総合型選抜と学校推薦型選抜(公募)の入試対策資料や出願書類の見本も掲載。  
一般選抜前の「WEB入試直前対策講座」も要チェック!



# CONTENTS

## Part 1 入試制度

- イベント情報 ..... 03
- 募集人員 ..... 07
- アドミッション・ポリシー ..... 08
- 入学試験スケジュール ..... 31
- 各種入試制度 ..... 33
  - 一般選抜(前期日程) ..... 33
  - 共通テスト利用選抜(前期日程) ..... 45
  - 一般選抜(後期日程) ..... 49
  - 共通テスト利用選抜(後期日程) ..... 53
  - 総合型選抜 ..... 57
  - 学校推薦型選抜(公募・併願) ..... 77
  - 学校推薦型選抜(公募・専願) ..... 79
  - 特別選抜 ..... 95
    - ・ 帰国生選抜
    - ・ 社会人選抜
    - ・ 外国人留学生選抜

## Part 2 出願ガイド

- 入学検定料割引制度 ..... 102
- シューダイレクト  
(インターネット出願)の流れ ..... 103
- 入学検定料のお支払い ..... 105
- 書類の印刷・郵送 ..... 106
- インターネット出願Q&A ..... 108

## Part 3 共通事項

- 受験上の注意 ..... 109
- インターネット合否照会について ..... 110
- 入学手続について ..... 110
- 諸納付金について(2025年度) ..... 111
- 奨学金制度 ..... 112
- 合格への道 ..... 113
- DATA 2024 ..... 120
- アクセス ..... 130

## PICK UP CONTENTS

### SHUDO×授業紹介動画

修大の学生リポーターが、各学科の学びやプロジェクトを紹介します。  
修大ならではの学びのワクワクをお届けします!



### 動画の視聴はこちら

🔍 広島修道大学 授業紹介動画 🔍 検索

<https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>



こちらから  
チェック!



### ■個人情報の取り扱いについて

インターネット出願・入学手続における登録情報および出願書類に記載されている、氏名・性別・生年月日・住所・写真・その他の個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」ならびに学校法人修道学園が定める「学校法人修道学園個人情報の保護に関する規程」および「個人情報の保護に関する方針」にもとづき、取得した個人情報の漏洩、流出、不正利用等がないよう必要かつ適正な管理を行い、入学試験の実施、入学手続、入学予定者に対して行う各種事業、入学者に対する入学後の教育指導および、これらに付随する業務のために使用するほか、個人が特定できない形に処理した上で、入学試験制度に関する各種統計処理等のために利用します。

また、上記業務の一部を外部業者等に委託し、個人データを提供する場合があります。その場合、本学が委託先に対し、契約等により必要な事項等を定めることで、当該個人データの安全管理が図られるよう必要かつ適切な監督を行います。

なお、本学の個人情報保護への取り組みについては、下記の2次元コードからご確認ください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/privacy.html>



この入学試験要項の記載事項は変更となる場合があります。  
入学試験にかかわる最新情報は入試情報サイトで確認してください。

# イベント情報

## [受験生・保護者対象入試説明会]、 [オープンキャンパス]

2024年度は本学キャンパスにて全4回の「入試説明会・オープンキャンパス」を開催いたします。実際にキャンパスにお越しいただき、修大の雰囲気を感じ取っていただけるイベントです。ぜひご参加ください!

私たちが案内します!



受験生・保護者対象  
入試説明会

6/23 日

第1回  
オープンキャンパス

7/20 土

Let's Go!



第2回  
オープンキャンパス

7/21 日

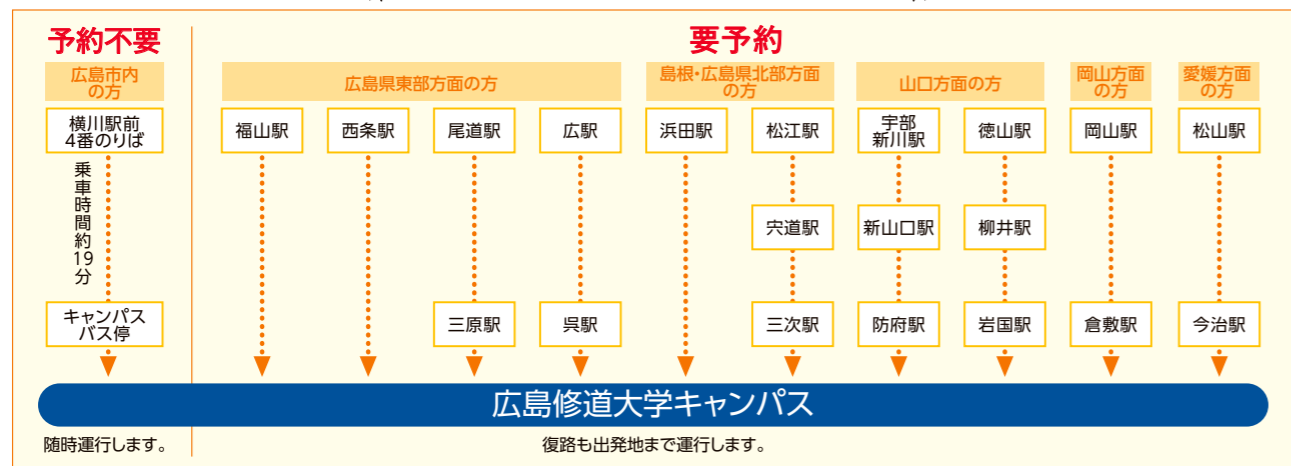
第3回  
オープンキャンパス

8/25 日

- 10:00~15:30(全4回共通) ●駐車場有 ●無料送迎バス運行(JR横川駅発着便・広島市外・県外発着便)
- 来場登録制(当日登録も可能。事前に登録のうえお越しいただくと、スムーズに入場できます。)



全日程で無料送迎バスを運行します



## プログラム

### 学部学科プログラム

13学科の教員が入試対策・学部学科説明・模擬講義を実施します。気になる学部学科のプログラムにはぜひ参加しましょう。

### キャンパスツアー

最新式の調理設備を備えた9号館や日本図書館協会建築賞を受賞した図書館など学生スタッフがご案内します。

### 予備校講師による入試問題分析

一般選抜の受験を考えている方におすすめ! 入試問題(国語・英語)の傾向と対策のコツについて、大手予備校講師が解説します。(7/20・7/21・8/25実施予定)

### 留学生と話そう!

留学生と交流できるコーナーです。留学・国際交流に興味がある方はお越しください!(7/20・7/21実施予定)

### 各種相談コーナー

教員に直接相談できる学部別相談コーナーをはじめ、在学生相談コーナー、就職相談コーナー、住まい・奨学金相談コーナー等でもスタッフがお待ちしております。

### 入試説明・大学概要説明

2025年度入試の概要と修大の学び、課外活動、就職支援などについて入学課員がご説明します。

※イベントの日程・時間・内容等は変更になる場合があります。最新の情報は入試情報サイトでご確認ください。

\*日程・時間・開催の有無等は変更になる場合もありますので、本学入試情報サイトで確認のうえ、参加してください。

## WEB入試直前対策講座

毎年好評のイベントを今年度もWEBで実施します。予備校講師による「本学一般選抜・共通テスト対策講座」をはじめ、一般選抜(前期)の対策・準備に役立つコンテンツを公開しますので、ぜひエントリーしてご参加ください。

## イベント日程

12月2日(月)~ エントリー受付開始

12月9日(月)~ 特設ページ公開

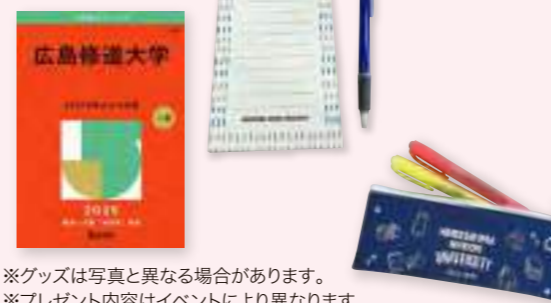
## コンテンツ

- 予備校講師による本学一般選抜・共通テスト対策講座動画
- 動画でわかる一般選抜(前期) など

## 参加者プレゼント

オープンキャンパスや入試相談会など、イベントへの参加者には

- 修大過去問題集(赤本)
- 修大オリジナルグッズをプレゼント!



※グッズは写真と異なる場合があります。  
※プレゼント内容はイベントにより異なります。

## 入試相談会

入試相談会では、本学の職員が学びや学生生活、入試について丁寧にご説明します。お気軽にご相談ください。

### 中国地区

場所	日付	会場	時間
呉	4月24日(水)	呉阪急ホテル 4F皇城の間	15:30~18:00
広島西	5月8日(水)	広島サンプラザ	16:00~18:30
岡山	5月9日(木)	岡山コンベンションセンター	15:30~19:00
呉	5月22日(水)	ビュー・ポートくれ(呉海員会館)	15:30~18:00
福山	6月4日(火)	福山ニューキャッスルホテル	15:30~18:00
広島	6月5日(水)	基町フレド	15:30~18:30
広島	6月8日(土)	NTTフレドホール	12:30~16:30
広島	6月12日(水)	広島産業会館 1階展示場 第2展示場	15:30~18:30
広島	6月13日(木)	NTTフレドホール	15:30~18:30
岩国	6月17日(月)	シンフォニア岩国	16:00~18:30
岡山	6月19日(水)	コンベックス岡山	13:00~17:00
山口	6月19日(水)	山口市民会館	16:00~18:30
広島	7月11日(木)	広島市中小企業会館	10:30~17:00
広島	8月24日(土)	広島産業会館 西展示館	12:30~17:00
広島	9月18日(水)	基町フレド	15:30~18:30
広島	10月5日(土)	NTTフレドホール	11:00~17:30
広島西	10月開催予定	広島サンプラザ	16:00~18:30
広島	11月6日(水)	基町フレド	15:30~18:30
岡山	11月7日(木)	岡山コンベンションセンター	16:00~18:30
松江	11月開催予定	松江テルサ	16:00~18:30

### 四国地区

場所	日付	会場	時間
松山	6月7日(金)	松山市総合コミュニティセンター体育館	15:30~18:30

### 九州地区

場所	日付	会場	時間
福岡	9月11日(水)	ソラリア西鉄ホテル	15:00~18:30

## LINE公式アカウント

各イベント情報、学部学科の学び、修大生の声など、タイムリーな情報を配信しています。大事なお知らせを見逃さないためにも、ぜひ登録してください。



登録はこちらから!

# 2025年度 入試の主な変更点

## (1) 学校推薦型選抜(公募・併願)の実施について

**NEW!**

# 学校推薦型選抜(公募・併願)を新たに実施します。

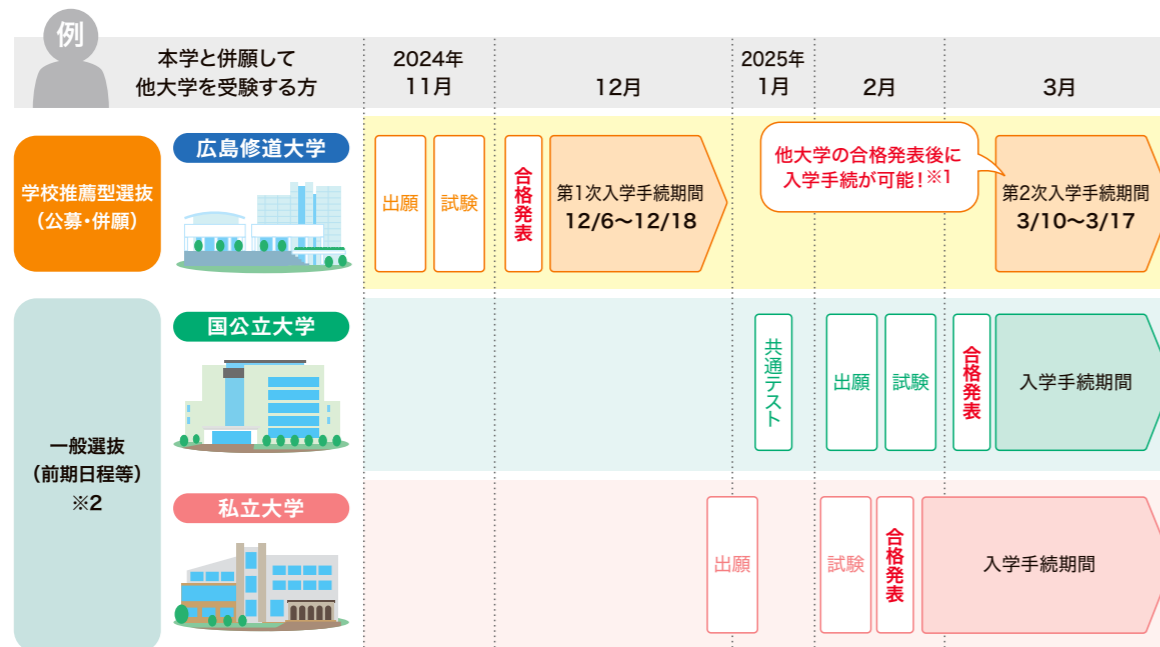
広島修道大学は「学校推薦型選抜(公募・併願)」を新たに実施します。  
年内に本学の合格発表があるため、  
国公立大学等の他大学にチャレンジする受験生の方にもおすすめの入試制度です。

ポイント

## 他大学との併願が可能!

全学部・学科で他大学との併願が可能です。  
例えば国公立大学等の他大学の合格発表を確認した後で、  
本学への入学を決めることができます。

全学部・学科  
対応



※1 第1次入学手続を完了していないと、第2次入学手続はできませんので注意してください。

※2 他大学の入試スケジュールはあくまで参考ですので注意してください。

ポイント

## 試験科目は英語・国語の2科目!

試験科目は全学部・学科共通の問題を使用します。また、解答はすべてマークシート方式で実施します。

詳しくはP77~「学校推薦型選抜(公募・併願)」のページでチェック!

## (2) 総合型選抜(人文学部英語英文学科)課題探究方式の実施について(詳しくはP64参照)

人文学部英語英文学科の総合型選抜において、「課題探究方式」を新たに追加し、「課題図書方式」と「課題探究方式」の2方式で実施します。

[課題探究方式 試験内容]

試験内容	時間	配点
英語力試験 レポート、ショートスピーチ(2分程度)	10:00~	100点
面接(個別) 探究課題に関する質問を含み、出願書類にもとづき行う。 また、面接には探究課題に関する資料(課題資料)の一部の音読を含む。	12:30~	50点

## (3) 共通テスト利用選抜(前期・後期)の試験科目・配点の変更について(詳しくはP45・P53参照)

全学共通で、以下のとおり実施します。選択科目を2科目以上受験していた場合は、最高得点科目の得点を合否判定に使用します。なお、令和7年度大学入学共通テストで経過措置として出題される旧教育課程科目を使用できることとします。

教科	試験科目	配点		
		前期 (経済科学部を除く)	前期 (経済科学部)	後期 (全学部共通)
外国語※	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	必須200点	必須200点	必須200点
国語	「国語」近代以降の文章および古典(古文、漢文)	必須200点	選択1科目 200点 (100点の科目は200点に換算)	選択1科目 200点 (100点の科目は200点に換算)
地理 歴史 公民	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 「地理総合/歴史総合/公共」	選択1科目 100点	選択1科目 200点 (100点の科目は200点に換算)	
数学①	「数学I、数学A」「数学I」		選択1科目 200点 (100点の科目は200点に換算)	選択1科目 200点 (100点の科目は200点に換算)
数学②	「数学II、数学B、数学C」			
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」			
情報	「情報I」			
合計		外+国+選択1科目の3科目合計 500点満点	外+選択2科目の3科目合計 600点満点	外+選択1科目の2科目合計 400点満点

※外国語において、英語英文学科は「英語」に限定します。

## PICK UP CONTENTS

### 動画でわかる一般選抜(前期)

一般選抜(前期)の概要と経済的負担を大幅に軽減できる「検定料割引制度」について説明している動画を入試情報サイトに掲載しています。一般選抜(前期)へ出願予定の方は必見です。



# 2025年度入学試験 募集人員

学部	学科	一般		共通テスト利用		総合型	NEW 学校推薦型 (公募・併願)	学校推薦型 (公募・専願)	学校推薦型 (指定校・ 附属校)	合計
		前期 A~C 日程	後期 日程	前期 日程	後期 日程					
商学部	商学科	70名	3名	8名	2名	活動実績重視方式 小論文重視方式 19名	10名	英語方式 指定資格方式 英語資格方式 12名	前期 31名 後期 若干名	155名
	経営学科	64名	2名	8名	2名	活動実績重視方式 小論文重視方式 15名	10名	英語方式 指定資格方式 英語資格方式 10名	前期 29名 後期 若干名	140名
	合計	134名	5名	16名	4名	34名	20名	22名	60名	295名
人文学部	社会学科	66名	2名	3名	1名	9名	2名	3名	9名	95名
	教育学科	47名	3名	4名	2名	12名	5名	10名	17名	100名
	英語英文学科	45名	5名	5名	2名	課題図書方式 課題探究方式 15名	5名	5名	18名	100名
	合計	158名	10名	12名	5名	36名	12名	18名	44名	295名
法学部	法律学科	75名	8名	15名	2名	ゼミナール方式 スポーツ実績方式 芸術・文化実績方式 } 15名 5名	15名	英語方式 小論文方式 5名 15名	40名	195名
	合計	75名	8名	15名	2名	20名	15名	20名	40名	195名
経済科学部	現代経済学科	59名	5名	5名	2名	11名	3名	英語方式 小論文方式 指定資格方式 英語資格方式 10名	20名	115名
	経済情報学科	59名	5名	5名	2名	11名	3名	英語方式 小論文方式 指定資格方式 英語資格方式 10名	20名	115名
	合計	118名	10名	10名	4名	22名	6名	20名	40名	230名
人間環境学部	人間環境学科	57名	3名	2名	1名	レポート方式 プレゼンテーション方式 活動実績方式 15名	8名	指定資格方式 5名	24名	115名
	合計	57名	3名	2名	1名	15名	8名	5名	24名	115名
健康科学部	心理学科	47名	3名	3名	2名	5名	3名	6名	11名	80名
	健康栄養学科	18名	3名	2名	2名	15名	5名	5名	30名	80名
	合計	65名	6名	5名	4名	20名	8名	11名	41名	160名
国際 コミュニティ 学部	国際政治学科	25名	2名	4名	2名	課題図書方式 14名	8名	英語方式 指定資格方式 課題探究方式 10名	前期 10名 後期 若干名	75名
	地域行政学科	25名	2名	4名	2名	課題図書方式 14名	8名	英語方式 指定資格方式 課題探究方式 10名	10名	75名
	合計	50名	4名	8名	4名	28名	16名	20名	20名	150名
総計		657名	46名	68名	24名	175名	85名	116名	269名	1,440名

# 広島修道大学のアドミッション・ポリシー

## 学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

広島修道大学は、学生一人ひとりが「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」となることを教育目標としています。この目標のもと、次のような人を広く受け入れます。

1. 大学での学びに必要な基礎学力を有する人
2. 地域・国際社会における課題を自ら発見し解決していく意欲がある人
3. 主体性を持って多様な人々と協力し価値を創造する意欲がある人
4. 持続可能な社会の創出に積極的に貢献する意欲がある人

各学部・学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度と関連付けて明示し、可否判定にあたっては多面的・総合的に資質や意欲を評価・判定します。

## 商学部

THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

### 1. 求める学生像

商学部では、世界、日本及び地域社会に関心を持つ人、商学、経営学に関心を持つ人、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組む人、多様な人々と協働して課題を解決しようとする人を広く国内外から求めます。基本的な学力として、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度という学力の3要素を求めます。

### 2. 入学試験制度と評価

商学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知

識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

### 3. 商学部の教育を通じて養う能力

商学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

## 商学部

THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

### 商学科

### 1. 求める学生像

商学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、商学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようすることを重視します。商学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

#### (1) 知識・技能

高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。商学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

#### (2) 思考力・判断力・表現力

商学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

#### (3) 主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

#### 【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

### 2. 入学試験制度と評価

商学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

#### (1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (3) 総合型選抜

商学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、商学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文(資料小論文)、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、出身学校調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜[活動実績重視方式]では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜[小論文重視方式]では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (4)学校推薦型選抜(公募)

##### 【専願】

学校長から推薦され、商学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・出身学校長の推薦書・出身学校調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、出身学校調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、出身学校調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

##### 【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (5)学校推薦型選抜(指定校)

商学科への進学実績をとまなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し商学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・出身学校長の推薦書・出身学校調査書等に基づいて学力の3要素を多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

#### (6)学校推薦型選抜(附属校)

##### 【専願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包

容性及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

##### 【併願】

志望理由書に基づいて商学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容量及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

#### (7)帰国生選抜

総合型選抜[活動実績重視方式]と同じ方式で評価します。帰国生選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

#### (8)外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### (9)編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### 3.商学科の教育を通じて養う能力

商学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

#### (4)学校推薦型選抜(公募)

##### 【専願】

学校長から推薦され、経営学科入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、所有する資格・検定試験等の成績・面接・出願書類・出身学校長の推薦書・出身学校調査書等に基づいて多面的・総合的に評価します。英語方式では、英語の個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。集団面接、出身学校調査書、志望理由書では、学力の3要素を全て評価します。指定資格方式、英語資格方式では、資格・検定等の書類、志望理由書、出身学校調査書、個別面接によって学力の3要素を全て評価します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

##### 【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (5)学校推薦型選抜(指定校)

経営学科への進学実績をとまなう高等学校等を対象に、学校長が推薦し経営学科入学を強く希望する生徒を選抜すべく、一定の学習成績の状況を条件に、面接・出願書類・出身学校長の推薦書・出身学校調査書等に基づいて学力の3要素を多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

#### (6)学校推薦型選抜(附属校)

##### 【専願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容量及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

##### 【併願】

志望理由書に基づいて経営学科で学修することの意義を理解し、学修意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容量及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てに同等の比重を置いて評価・判定します。

#### (7)帰国生選抜

総合型選抜[活動実績重視方式]と同じ方式で評価します。帰国生選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

#### (8)外国人留学生選抜

外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な基礎学力を有している外国人留学生を選抜し、小論文、日本留学試験(日本語・総合科目)の成績、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### (9)編入学試験・学士入学試験

編入学試験、学士入学試験では、主に3年次からの修学に必要な学力を有する者を選抜すべく、英語・小論文・面接・出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### 3.経営学科の教育を通じて養う能力

経営学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じてディプロマ・ポリシーで定める①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③協働力を養い、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材」を育成します。

## 商学部 THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES

### 経営学科

#### 1.求める学生像

経営学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、世界、日本及び地域社会に関心を持つこと、経営学に関心を持つこと、スポーツ・文化活動・ボランティア活動に取り組むこと、多様な人々と協働して課題を解決しようとすることを重視します。経営学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

#### (1)知識・技能

高等学校における国語・英語の教科に関する知識・技能を有する人。経営学科の専門分野を学ぶために、社会に対する関心・基礎知識、学校等で修得すべき基本的な知識・教養を持っている人。

#### (2)思考力・判断力・表現力

経営学に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読み、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

#### (3)主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容量を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

#### 【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学修には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、社会に対する興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

#### 2.入学試験制度と評価

経営学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

#### (1)一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (2)共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (3)総合型選抜

経営学科入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、経営学科で学ぶことの意義についてしっかりとした興味・関心を持っている生徒を選抜するために、個別学力検査として小論文(資料小論文)、面接、出願書類によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。個別学力検査では、学力の3要素のうち知識・技能、思考力・判断力・表現力を見るために小論文(資料小論文)を出題します。面接では自己アピール、志望理由、高校生活などを含めてコミュニケーション能力を見ることで、学力の3要素全てを評価します。出願書類では、学力の3要素を、出身学校調査書、志望理由書、活動報告書によって評価します。

総合型選抜[活動実績重視方式]では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜[小論文重視方式]では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (別表)商学科・経営学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法(◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・英語資格・検定(共通テストプラス方式のみ) ・共通テストの成績(共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績(共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜(前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜[活動実績重視方式]	○	・小論文 ・面接 ・出身学校調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
	総合型選抜[小論文重視方式]	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校調査書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)(英語方式)	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査(英語) ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等申請書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願)(英語資格方式)	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等の証明書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

1. 求める学生像

社会学科は、高等学校卒業程度の学力、すなわち入学後に学士課程教育を受けるに必要な学力を有し、次のような人を広く国内外から受け入れます。具体的には、(1)社会における諸現象・諸問題に関心があり、自ら調査し、考え、他者とコミュニケーションすることによって学ぼうとする人、(2)豊かな人間性を培うために、広い視野を有し、多角的な社会的視点から実社会を理解しようと努める人、(3)社会学の視角・方法・理論を修得しようと努める人、(4)将来に関して目標を持ち、自己の人生を切り開く能力を身につけようとする人です。

社会学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語・社会科・数学などの教科に関する知識・技能を習得している人。社会の構造、社会に生きる人々の意識や価値観を理解し、社会における様々な現象や問題・課題について理解・分析し、自身の考えを表現し、他者と議論する際に基礎となる能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

自ら社会的な課題や問題を発見し、その解決に取り組み、成果を社会において表現するのに必要な社会的思考力・判断力・表現力を修得することに意欲がある人。

(3) 主体性等

激しく変化していく現代社会のなかで多様な価値観を持つ他者に対して理解しようとする態度を備え、主体性を持って多様な人々と学びあい、相互理解をはかっていることとする意欲がある人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、英語と国語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめします。

2. 入学試験制度と評価

社会学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、主として個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して選抜します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

社会学科での学修に意欲を持つ者で、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有していると高等学校長などから推薦された者から、主として個別学力検査と面接に基づいて、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して学生を選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

社会学科への入学を強く希望し、社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している高等学校長などから推薦された者から、主として面接に基づいて、志望理由書、出身学校調査書の内容、高等学校などでの活動・経験などを加味して、学生を選抜します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて社会学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 社会人選抜

社会学を学ぶことの意義について適切に理解し、かつ入学後に学士課程教育を受けるに必要な基礎学力を有している学生を、個別学力検査に基づいて、面接、志望理由書、出身学校調査書の内容、社会人としての活動・経験などを加味して選抜します。個別学力検査では、英語を含めた資料読解力・理解力に基づいた資料小論文方式を実施します。

(8) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(9) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(10) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3. 社会学科の教育を通じて養う能力

社会学科の教育を通じて養う能力は、以下のような能力です。

(1) 社会学の知識に基づく視角・方法・理論の成り立ちと現代的展開を自ら学び考えることによって、実社会における現象や問題・課題について、社会的に理解・分析し、自身の考えを表現できる能力。

(2) 修得した社会的知識に基づく視角・方法・理論を持って、自ら社会的な課題

を発見し、社会問題の解決に取り組み、その成果を社会的に表現するために必要な社会的思考力・判断力・コミュニケーション能力。

(3) 激しく変動していく現代社会において、自ら身につけた社会的知識を多様な科学や学問に照らしつつ、主体性を持って多様な人々と学びあう能力。

(4) 国際化を進める社会で活躍できる確かなコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマに関して主体性を持って学問的に追求する能力。

(別表) 社会学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程、後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・課題小論文 ・出身学校調査書	◎	・課題小論文 ・面接 ・志望理由書	◎	・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)	◎	・小論文 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

1. 求める学生像

教育学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。教育学とは、ある社会・文化における人間の生成・発達と学習の過程に意図的に働きかける教育という営みを対象とする学問です。そのため、教育学を学ぶ学生には、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する力を身につけることが必要です。

教育学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

教育学の専門分野を学ぶために必要な高等学校までの基礎的・基本的な知識・技能を習得し、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成したり、文章や資料を読んだうえで、知識や経験に照らして自分の考えをまとめたりするなど、それぞれの教科の知識・技能を活用できる力を身につけている人。

(2) 思考力・判断力・表現力

教育学的な視点で自ら問題を発見し、課題解決のため教科等を横断した探究活動ができる力を身につけている人。  
情報を多面的・多角的に精査し構造化することを通して、自分の考えを形成し、様々な方法で表現できる力を身につけている人。

(3) 主体性等

学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる態度が身についている人。  
多様性を尊重する態度や互いの良さを生かして協働する力が身についている人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、国語については、高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り基礎学力の向上に努めてください。基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。自分の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめです。また、自ら問題を発見し、様々な情報を活用しながら、問題を解決し、それを発信できる言語能力を高めてきてください。

2. 入学試験制度と評価

教育学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、筆記試験に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。また、集団討論に基づいて思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の能力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績に基づいて日本語運用能力を評価します。そのうえで、面接に基づいて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価します。

外国人留学生選抜では、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(8) 社会人選抜

志望理由書に基づいて教育学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、資料小論文に基づいて読解、要約、分析、論述の学力を多面的・総合的に評価します。さらに、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

社会人選抜では、資料小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査と小論文に基づいて、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を評価します。そのうえで、面接に基づいて主体性、入学後の学びに対する計画性、言語運用能力を評価します。

編入学試験・学士入学試験では、個別学力検査と小論文の結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3. 教育学科の教育を通じて養う能力

教育学の学修方法は、「教えるー学ぶ」に関連する理論と実践について、言語、身体、感覚の全てを視野に含みつつ、考察を行うことを基盤としています。その学修方法を通して、多様な視点やアプローチによって教育という営みについて考察し、教育のありうる姿を構想・具体化する能力を身につけます。

(別表)教育学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法(◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・面接 ・志望理由書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団討論 ・面接 ・志望理由書	○	・集団討論 ・面接 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)	◎	・小論文 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

1. 求める学生像

英語英文学科は、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、言語や文化、とりわけ英語や英語圏の文化に強い関心と探究心があり、英語習得に必要な不可欠な努力を惜みず、英語で他者と積極的に交流し、多様な価値観を持つ他者とともに問題の解決に当たる協働性を備えていることを重視します。英語英文学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語の教科に関する知識・技能を有する人。すなわち、英語圏の文学や英語学・応用言語学の文献読解、さらにこれを踏まえた論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎となる英語の音声・語彙・文法の知識及び「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能に加え、伝達の内容に関して論理的に思考・判断・表現する際に基礎となる日本語能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

言語や文化に関わる問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

(3) 主体性等

多様な価値観を持つ他者に対する包容力を備え、主体性を持って共感的な人間関係を創造しながら、同時に自らの意図を明確に表明して相互理解を図る能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、英語については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り英語力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分

の興味関心を広げるために、様々な本を読むこともおすすめです。

英語学習に関しては、英文法を一通り学習すること、正しい発音で大きな声で音読すること、英検等各種検定試験に積極的に挑戦することです。これらのことは「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」等の育成に役立ちます。

2. 入学試験制度と評価

英語英文学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、英語力試験に基づいて基礎となる英語能力を評価します。さらに、面接に基づいて、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (4) 学校推薦型選抜(公募)

##### 【専願】

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、個別学力検査に基づいて基礎となる英語能力及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接に基づいて、主体性及び口頭による思考力・判断力・表現力を評価します。また、出願書類に基づき、取得した英語資格も加味します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

##### 【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書に基づいて多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (6) 学校推薦型選抜(附属校)

志望理由書に基づいて英語英文学科で学修することの意義を理解し、強く入

学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び相互理解を図る能力を評価します。

学校推薦型選抜(附属校)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

#### (8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

#### (9) 編入学試験・学士入学試験

英語に関する個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接によって主体性等を評価したうえで、個別学力検査結果及び面接結果を同等の比重で評価・判定します。

#### 3. 英語英文学科の教育を通じて養う能力

言語としての英語及び英語圏の文化の諸相に関する知識と、国際化を進める社会で活躍できる確かなコミュニケーション能力を身につけ、自らの課題とテーマを学問的に追求し、主体性を持って協創する能力を身につけます。

## 法学部 THE FACULTY OF LAW

### 法律学科

#### 1. 求める学生像

法学部法律学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎的な学力を備えている人を様々な入学制度により選抜し、受け入れます。求める学生像は、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人で、法と国家・社会の関わりに関心を持ち、社会に生じる問題について多様な価値観を尊重しつつ合理的な解決に向けて意欲的に学習し行動しようとする人です。

#### (1) 知識・技能

まず、国語の基礎学力を有する学生を求めます。法律学科で法解釈の素養を身につけるためには、正確に文章を読み解き、論理的に考えることがとりわけ重要です。次に、理数系科目の基礎学力を有する学生を求めます。法学に必要な論理的思考力は数学などの理数系科目の学習によって培われると考えられています。また、グローバル化した社会の中で法的素養を身につけるには、諸外国の法制度にも関心を持たなければなりません。そのため、高等学校における英語の教科に関する知識・技能を有する学生を求めます。さらに、今日の法制度を学ぶにあたって、歴史的な経緯を理解することも重要であるため、日本史・世界史の知識を有することも必要です。

#### (2) 思考力・判断力・表現力

公正な社会の実現に努める意欲を持っており、様々な社会の諸現象や諸問題に強い関心があり、自ら調査し、事態の背景や推移を正確に理解し、問題解決に必要な情報を収集・蓄積することのできる学生、先入観や偏見にとらわれず、多様な考え方や価値観を学習・理解するとともに、多数の解決法を比較・選択したうえで、自分の意見を決定することのできる学生、文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現することのできる学生を求めます。

#### (3) 主体性等

法律専門家・公務員・企業人など、将来の進路について明確な目標を持つよう模索し、主体的に学ぶことのできる学生、多様な立場や価値観を尊重し、他者の意見や価値観の相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有する学生を求めます。

#### 【入学前に学習しておくことを期待する内容】

法律の学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって法学部法律学科への入学を希望する学生は、高等学校における科目の教科書レベルの知識を幅広くしっかりと習得していることが大切です。特に国語や数学、英語、歴史などの科目をしっかり学んでください。また、新聞や様々な本を読むことにより、社会科学に関する幅広い知識を習得できるため、新聞や様々な本を読むことを強くおすすめします。

#### 2. 入学試験制度と評価

法学部法律学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

#### (1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

#### (2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

#### (3) 総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」に重点を置き、特定の課題に関するゼミナール(ゼミナール方式の場合)・社会問題についての小論文(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、面接(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、活動報告書(スポーツ実績方式、芸術・文化実績方式の場合)、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### (4) 学校推薦型選抜(公募)

##### 【専願】

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置き、英語試験(英語方式)・資料小論文試験(小論文方式)、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

##### 【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に重点を置いて評価・判定します。

#### (5) 学校推薦型選抜(指定校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で、社会問題についての小論文及び社会問題に関する3分間説明、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### (6) 学校推薦型選抜(附属校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校における正課活動及び課外活動に積極的に取り組み、本学法学部法律学科で学ぶことの意義について明確な興味・関心を持った者を選抜します。

学校推薦型選抜(附属校)では、学力の3要素全てを同等の比重で、面接、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(一定の学習成績の状況を満たす必要があります)、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### (7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜(ゼミナール方式)と同じ方式で実施します。

#### (8) 外国人留学生選抜

主に入学後の学修に必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、資料小論文試験、日本留学試験のスコア、面接、出願書類等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### (9) 編入学試験・学士入学試験

第3学年次に編入するために必要な基礎学力を有している者を選抜します。選抜においては、英語試験・資料小論文試験、面接、成績証明書、志望理由書等をもとにして、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

#### 3. 法律学科の教育を通じて養う能力

法律学科の教育目標を実現するために必要な法的知識と技能を修得し、法的課題の発見及び解決に取り組み、その成果を表現するために必要な法的思考力・判断力・表現力等の能力を持ち、多様な人々と協創して学びあう能力を養います。

(別表) 英語英文学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	◎	・英語力試験 ・面接 ・出身学校調査書 ・活動報告書	◎	・英語力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	○	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)	◎	・個別学力検査 ・英語資格・検定 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

(別表) 法律学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜 (ゼミナール方式)	○	・ゼミナール ・出身学校調査書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨	◎	・ゼミナール ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・ゼミナール報告要旨
	総合型選抜 (スポーツ実績方式) (芸術・文化実績方式)	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・出身学校調査書	◎	・社会問題についての小論文 ・面接 ・活動報告書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・社会問題についての小論文 ・面接 ・活動報告書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 (公募・専願) (英語方式)	◎	・英語 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・英語 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (公募・専願) (小論文方式)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・社会問題についての小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

## 経済科学部

THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

### 1. 求める学生像

経済科学部では、経済社会・情報社会に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、次の基礎能力を有する人を求めます。物事を論理的に考察できる人、物事を科学的に考察できる人、学修に真摯かつ熱心に取り組むことのできる人、明朗快活にコミュニケーションをとることができる人。

### 2. 入学試験制度と評価

経済科学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して

学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

### 3. 経済科学部の教育を通じて養う能力

経済科学部の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」として養成します。

## 経済科学部

THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

### 現代経済学科

#### 1. 求める学生像

現代経済学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。現代経済学科が求める学生像は、経済社会・経済問題・経済現象等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

#### (1) 知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、現代経済学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

#### (2) 思考力・判断力・表現力

経済問題や経済現象に対し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

#### (3) 主体性等

経済問題や経済現象に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

#### 【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文科系・理科系を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、現代経済学科の大半の講義は修得できます。

#### 2. 入学試験制度と評価

現代経済学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

#### (1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書等によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書等によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (3) 総合型選抜

講義理解力試験で現代経済学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・志望理由書等に基づいて、現代経済学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、「主体性等」を評価します。総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書等に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (4) 学校推薦型選抜(公募)

##### 【専願】

現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況に条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、面接・推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書に基づく知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書による知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

##### 【併願】

現代経済学科入学を希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況に条件に選抜します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、推薦書・調査書で知識・技能を確認して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (5) 学校推薦型選抜(指定校)

修学実績をともなう高校等を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況に条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (6) 学校推薦型選抜(附属校)

##### 【専願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況に条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

##### 【併願】

附属高校を対象に、現代経済学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況に条件に選抜します。志望理由書等に基づいて現代経済学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

#### (8) 外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本語留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (9) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### 3. 現代経済学科の教育を通じて養う能力

現代経済学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ディプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「現代の経済社会を体系的に把握かつ科学的に分析する能力を有する人材」として養成します。

※経済科学部現代経済学科の入学試験制度における評価の比重と評価方法に関する「別表」はP20参照。

1. 求める学生像

経済情報学科は、学士課程教育を受ける際に必要とされる基礎学力及び主体性等を備えた人を、様々な入学試験制度によって選抜し、受け入れます。経済情報学科が求める学生像は、情報社会・情報科学・システム科学等に強い関心を持ち、これまでの学修経験を通じて、以下の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における英語・国語・数学の初等的な知識・技能は修得していること。すなわち、経済情報学の講義を受ける際に最低限必要とされる基礎学力を有し、真摯に受講すれば講義内容を十分に理解できる能力を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

情報科学やシステム科学の学修に際し、論理的かつ科学的に思考・判断する能力を有し、さらに考察結果を明快に表現する能力を有する人。

(3) 主体性等

情報科学やシステム科学に常に関心を持ち、主体的・能動的に学修に取り組むと同時に、学修過程において多種多様な他者と明朗快活にコミュニケーションをとる能力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

文系・理系を問わず、あるいは商業・工業・総合等の学科を問わず、高校低学年次における英国数の必須科目は確実に学修しておいてください。その基礎学力と真摯な学修姿勢があれば、経済情報学科の大半の講義は修得できます。

2. 入学試験制度と評価

経済情報学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と調査書等によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と調査書等によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

講義理解力試験で経済情報学を学ぶ際に必要な「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、面接・志望理由書等に基づいて、経済情報学科入学を強く希望しているか、学修のみならず万事に真摯かつ熱心であるかなど、「主体性等」を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、調査書等に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に、英語方式・小論文方式・指定資格方式・英語資格方式で選抜します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、英語方式・小論文方式では個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力、面接・推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書に基づく知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。指定資格方式・英語資格方式では面接・推薦書で知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価し、調査書による知識・技能の評価も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

経済情報学科入学を希望し学校長が推薦する学修意欲の高い生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、個別学力検査で知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価し、推薦書・調査書で知識・技能を確認して多面的・総合的に評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

修学実績をともなう高校等を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を強く希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科入学を強く希望しているか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

附属高校を対象に、経済情報学科入学を希望し学校長が推薦する生徒を、一定の学習成績の状況を条件に選抜します。志望理由書等に基づいて経済情報学科で学修することの意義を理解し学習意欲があるか等を評価し、面接で特に主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素のうち、主体性等に重点を置き、調査書・推薦書に基づく知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

小論文によって知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価し、日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(9) 編入学試験・学士入学試験

個別学力検査によって、主に第3学年次に修学するために必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに面接と出願書類によって、主体性等も加味して多面的・総合的に評価・判定します。

3. 経済情報学科の教育を通じて養う能力

経済情報学科の入学者には、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を通じ、ティプロマ・ポリシーに定めるところの知識・技能、思考力・判断力・表現力、多様な人々と協創する姿勢を涵養し、「経済社会の発展に貢献しうる情報処理能力及び論理的思考力を有する人材」として養成します。

※経済科学部経済情報学科の入学試験制度における評価の比重と評価方法に関する「別表」は次頁参照。

(別表) 現代経済学科・経済情報学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・講義理解力試験 ・出身学校調査書	◎	・講義理解力試験 ・面接 ・志望理由書 ・活動報告書	◎	・面接 ・志望理由書 ・活動報告書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願) (英語方式)	◎	・英語 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・英語 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (小論文方式)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (指定資格方式)	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等申請書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・専願) (英語資格方式)	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等申請書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	

1. 求める学生像

人間環境学科は、学士課程教育を受けるのに必要な基礎学力を備えた人、様々な入学試験制度により選抜し、受け入れます。具体的には、環境問題に広く関心を持ち、その解決に向けて主体的に学習・行動し、持続可能な社会の構築に資する意欲を持つ人材を広く国内外から受け入れます。人間環境学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

- ・高等学校で学習する教科についての基礎的な知識を身につけている人
- ・高等学校等で学習する環境問題についての基礎的な知識を身につけている人
- ・基礎的な知識を伝達するために、外国語を含む基本的な言語運用能力を身につけている人

(2) 思考力・判断力・表現力

- ・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、理論的・体系的に考えることができる人
- ・環境問題についての基礎的な知識に基づいて、問題解決に必要な情報を選択し、解決の方向性について自分の考えを持つことができる人
- ・外国語を含む基本的な言語運用能力を用いて、自分の考えを論理的にわかりやすく表現することができる人

(3) 主体性等

- ・地域社会から地球全体に至る様々な環境問題を自分自身の問題としてとらえ、問題解決のために学ぶ意欲・関心・態度を持つ人
- ・持続可能な社会を構築するために、様々な活動に積極的に参加する意欲を持つ人
- ・持続可能な社会を構築するために、多様な人々と対話し協働して活動することができる人

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

- ・環境問題に関連する文系・理系の枠組みを超えた専門分野を学ぶために、高等学校で学習する幅広い教科の教科書レベルの知識を身につけておくこと
- ・書籍や新聞等を読んで、環境問題をはじめとする国内外の問題について幅広い知識を身につける努力をしておくこと
- ・国内外の環境問題について普段から関心を持ち、自分の考えを表現できるようになっておくこと

2. 入学試験制度と評価

人間環境学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を得点化して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

本学への入学を強く希望し、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、総合型選抜(レポート方式)、総合型選抜(プレゼンテーション方式)、総合型選抜(活動実績方式)があります。

総合型選抜(レポート方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、共通のテーマに関するレポート、レポートに関する質疑応答審査、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(レポート方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜(プレゼンテーション方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、共通のテーマに関するプレゼンテーション審査、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、志望理由書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(プレゼンテーション方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置いて評価・判定します。

総合型選抜(活動実績方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、高等学校等での活動実績、共通のテーマに関連する知識を問う筆記試験、面接、志望理由書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。総合型選抜(活動実績方式)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。選抜の方式には、学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)があります。

学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、英語と数学の資格・検定、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

本学への入学を強く希望し、学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

本学への入学を強く希望し、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

【併願】

本学での学修に意欲を持ち、附属校の学校長から推薦され、高等学校等での正課・課外活動に積極的に取り組み、本学科で学ぶことの意義をしっかりと理解している人を選抜します。入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、面接、志望理由書、出身学校長の推薦書、出身学校調査書(高等学校での学習成績の状況を満たす必要があります)によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(7) 社会人選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、面接、志望理由書、出身学校調査書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。社会人選抜では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(8) 帰国生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、総合型選抜と同じ方式で多面的・総合的に評価・判定します。ただし、総合型選抜における出身学校調査書の代わりとなる出願書類の提出を求めます。

(9) 外国人留学生選抜

入学後に必要な基礎学力を有する者を選抜するために、小論文、日本語試験(日本語)の成績、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。外国人留学生選抜では、学力の3要素全てを同等の比重で評価・判定します。

(10) 編入学試験・学士入学試験

第3学年次に修学するために必要な学力を有する者を選抜するために、英語の個別学力検査、小論文、面接、志望理由書、その他の出願書類によって多面的・総合的に評価します。編入学試験・学士入学試験では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

3. 人間環境学科の教育を通じて養う能力

社会・文化・経済・政治・法律・自然等、多様な領域に関連させながら、環境問題を総合的に把握・分析するための知識と理解力を身につけ、環境問題を解決するための思考力や判断力を獲得します。そのうえで、多様な人々と協働・協創し、その実現に向けて主体的に行動する能力を身につけます。

(別表) 人間環境学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績(共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定(共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績(共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜(前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜(レポート方式)	◎	・共通のテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する質疑応答審査 ・出身学校調査書 ・レポート	◎	・共通のテーマに関する筆記試験 ・レポートに関する質疑応答審査 ・志望理由書 ・レポート	○	・レポートに関する質疑応答審査 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	総合型選抜(プレゼンテーション方式)	○	・共通のテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・出身学校調査書 ・プレゼンテーション資料	◎	・共通のテーマに関する筆記試験 ・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・プレゼンテーション資料	◎	・プレゼンテーション審査 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	総合型選抜(活動実績方式)	○	・共通のテーマに関する筆記試験 ・面接 ・出身学校調査書 ・活動実績	○	・共通のテーマに関する筆記試験 ・面接 ・活動実績 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校調査書 ・活動実績 ・志望理由書
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)	◎	・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・英語・数学資格・検定	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

## 健康科学部

THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

### 1. 求める学生像

健康科学部では、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性)を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に加え、人間の「こころ」と「からだ」の仕組みと働きに関して、絶えざる興味を持った人を求めます。すなわち、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識・技能とともに、入学後の学修において必要な、思考の柔軟性、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働・協創して真摯に学ぶことができる人を求めます。

### 2. 入学試験制度と評価

健康科学部は、上記の基礎能力や資質を確かめるために、入学試験制度ごとに

## 健康科学部

THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES

### 心理学科

### 1. 求める学生像

心理学科では、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識及び技能を備え、入学後の学修において必要な柔軟な思考力、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「こころの健康」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。心理学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

#### (1) 知識・技能

高等学校における主要教科に関する基礎的な知識・技能を有する人。すなわち、日本語や英語で書かれた文献を読み解き、論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎的な国語力や英語力、社会の動向に関心を持ち、図表や資料を読み取ったり、図表を用いて表現したりするための数学や理科、社会に関する基礎的な知識・技能を有する人。

#### (2) 思考力・判断力・表現力

「こころの健康」に強い関心を持ち、地域や社会における日常の身近な問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読み解き、それをもとに考察し、自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って取り組む態度を有する人。

#### (3) 主体性等

自らの考えや意見を明確に表現するとともに、多様な価値観を持つ他者の考えや意見も尊重し、互いに理解し合う共感的な人間関係を築きながら、積極的に他者と協働する力を有する人。

#### 【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの基本的な知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために、国語の基礎学力が必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本や記事を読むこともおすすめします。

### 2. 入学試験制度と評価

心理学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

#### (1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価します。評価の比重及び評価方法は、各学科のアドミッション・ポリシーで明示します。

#### 3. 健康科学部の教育を通じて養う能力

健康科学部では、人間の「こころ」と「からだ」の心理学的・生理学的・生物学的な仕組みと働きについて科学的に探究し、健康の回復・保持・増進に向けて問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

#### (2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認します。そのうえで、集団活動試験及び集団討論に基づいて、問題解決のための柔軟な思考力・情報収集力、問題解決の成果を分析する能力と判断力、分析結果を論理的な文章と適切な図表とによって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者とともに取り組む協働力等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (4) 学校推薦型選抜(公募)

##### 【専願】

志望理由書に基づいて、心理学科で学修することを強く希望していることを確認します。そのうえで、小論文形式による個別学力検査に基づき、知識・技能、身の周りの日常的問題に気づく観察力や思考力、問題解決の成果を分析する能力と判断力及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接、志望理由書及び出身学校長の推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と協働力等を評価します。

学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素である、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性に注目し、出身学校長の推薦書等に基づく評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

##### 【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

#### (5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び協働力等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (6) 学校推薦型選抜(附属校)

##### 【専願】

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び協働力等を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と出身学校長の推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

##### 【併願】

志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び協働力等を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と出身学校長の推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

#### (7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

#### (8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書に基づいて心理学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認し、面接によって知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働力及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

#### (9) 編入学試験・学士入学試験

英語、小論文、面接の試験科目を課して、第3年次に入学するために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を有しているかを多面的・総合的に評価します。(2025年度は実施しません。)

#### 3. 心理学科の教育を通じて養う能力

心理学科では、人間の「こころ」の心理学的・生理学的な仕組みと働きについて科学的に探究し、「こころの健康」の回復・保持・増進に向けて、他者と協働・協創して、問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

#### (別表) 心理学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団活動試験 ・集団討論 ・出身学校調査書	◎	・課題図書に関する筆記試験 ・集団活動試験 ・集団討論 ・志望理由書	◎	・集団活動試験 ・集団討論 ・志望理由書	
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(公募・専願)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力試験 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力試験		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

1. 求める学生像

健康栄養学科では、学士課程教育を受けるために必要な基礎知識及び技能を備え、入学後の学修において必要な柔軟な思考力、創造力、主体性を持った問題発見能力・問題解決能力及び倫理性を持ち、多様な価値観を持つ他者と協働して「人の健康と栄養」に強い関心と探究心を持って学ぶことができる人を求めます。健康栄養学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における主要教科に関する基本的な知識・技能を有する人。すなわち、日本語や英語で書かれた文献を読解し、論述や口頭でのコミュニケーションを行うための基礎的な国語力や英語力、社会の動向に関心を持ち、図表や資料を読み取ったり、図表を用いて表現したりするための数学や理科、社会に関する基礎的な知識・技能を有する人。

(2) 思考力・判断力・表現力

「人の健康と栄養」に強い関心を持ち、地域や社会における日常の身近な問題に気づく観察力、その問題を解決するために文献を読解し、それをもとに考察し、自らの結論を導く思考力・判断力、その結論を論理的な文章や口頭発表によって説得的に示す表現力及びこの問題解決プロセスに主体性を持って他者と協働できる態度を有する人。

(3) 主体性等

自らの考えや意見を明確に表現するとともに、多様な価値観を持つ他者の考えや意見も尊重し、互いに理解し合う共感的な人間関係を築きながら、積極的に他者と協働する力を有する人。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの基本的な知識を幅広く習得していることが大切です。

特に、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために、国語の基礎学力が必要です。また、自分の興味関心を広げるために、様々な本や記事を読むこともおすすめです。

2. 入学試験制度と評価

健康栄養学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。そのうえで、課題に関するレポート、課題レポートをもとにしたプレゼンテーションの内容(質疑応答の状況を含む)で審査を行います。その審査結果及び出身学校調査書に基づき、多面的・総合的に評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、出身学校調査書に基づく知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

【専願】

学校長から推薦され、健康栄養学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを志望理由書に基づいて確認します。そのうえで、小論文形式による個別学力検査に基づいて、知識・技能、身の周りの日常的な問題に気づく観察力や思考力、問題解決の成果を分析する能力と判断力及び分析結果を論理的な文章によって説得的に示す表現力を評価します。さらに、集団面接、志望理由書及び出身学校長の推薦書等によって、高等学校等での正課・課外活動への主体性を持った取り組み及び多様な価値観を持つ他者に対する包容力と他者との協働性等を評価します。学校推薦型選抜(公募・専願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、入学を希望していることを確認したうえで面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び他者との協働性を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び他者との協働性を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と出身学校長の推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義を理解し、「人の健康と栄養」に関して大いに関心を持ち、学習意欲があることを確認したうえで、面接に基づいて主体性、多様な価値観に対する包容力及び他者との協働性を評価します。面接の結果に重点を置き、志望理由書と出身学校長の推薦書に基づく知識及び思考力等の評価を加味して多面的・総合的に評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同等の比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、志望理由書に基づいて健康栄養学科で学修することの意義について強い関心を持って入学を希望していることを確認し、面接によって知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、日本留学試験の成績と面接結果を同等の比重で評価・判定します。

3. 健康栄養学科の教育を通じて養う能力

健康栄養学科では、「人と食」の多面的な学びをベースに、主たるテーマである「人の健康と栄養」を科学的に探究し、栄養士・管理栄養士として「人の健康の回復・保持・増進」に向けて、他者と協働・協創して、問題の解決に当たることのできる能力を身につけます。

(別表) 健康栄養学科 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)		
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績		
総合型選抜	総合型選抜	○	・プレゼンテーション審査 ・出身学校調査書 ・課題レポート	◎	・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・課題レポート	◎	・プレゼンテーション審査 ・志望理由書 ・課題レポート
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜 (公募・専願) (指定資格方式)	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜 (公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査		
	学校推薦型選抜(指定校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

1. 求める学生像

国際コミュニティ学部は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を受け入れます。選抜過程では、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念とともに重視し、地域社会と国際社会における多様性とダイナミズムを理解できる思考力と知性を身につけているかどうか、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し解決していくための資質と能力を備えているかどうかを判断します。

国際コミュニティ学部が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、地域社会や国際社会における多様性やダイナミズムへの関心や問題意識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションの基礎となる英語の知識。

(2) 思考力・判断力・表現力

社会の持続的発展や平和の実現のために文献を読解し、それをもとに自ら考察できる思考力・判断力と、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3) 主体性等

多様な人々とのコミュニケーションを通じて社会における相互理解を進め、様々な人々との協働を通じて国際社会・地域社会が抱える課題の解決に向けて取り組む能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。さらに、英語は国際社会を理解し世界の人々となつがるために必要です。

2. 入学試験制度と評価

国際コミュニティ学部で学ぶために必要な「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価するために、各学科で多様な入学試験を実施し、選抜します。

3. 国際コミュニティ学部の教育を通じて養う能力

国際コミュニティ学部のディプロマ・ポリシーに掲げる目的を実現するために必要な知識と技能を習得し、課題発見・課題解決に取り組み、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

1. 求める学生像

国際政治学科は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、受け入れます。選抜過程では、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念を重視し、コミュニティ間のグローバルなつながりから社会をとらえる視点を有し、社会が直面する様々な問題を理解し、課題の解決へ積極的に関与するとともに、英語によるコミュニケーション力により広島と世界との架け橋となるうとする志向を備えているかどうかを判断します。

国際政治学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、コミュニティ間のグローバルなつながりから社会をとらえる視点と国際的な政治・文化・歴史への知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる英語の知識。

(2) 思考力・判断力・表現力

政治的・社会的な出来事や問題に気づき、その事象や問題を理解するために文献を読解し、それをもとに自ら考察する思考力・判断力、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3) 主体性等

多様な価値観の共存を探りながら、主体性を持って人々とつながりを生む能力。同時に自らの意思を明確に表明しつつ、様々な国の人々と協力して課題解決を目指す能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語・英語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の国々に関する様々な本を読むこと、多様な体験をしてみることを勧めます。

2. 入学試験制度と評価

国際政治学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性等に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績(英語の資格・検定のみなし得点を含む。)と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、小論文試験等に基づいて知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接等に基づいて、思考力・判断力・表現力及び主体性等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、入試制度の区分に応じた評価方法に基づいて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

【専願】

学校推薦型選抜(公募・専願)(英語方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募・専願)(課題探究方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校長から推薦され、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と、出身学校長の推薦書、出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校・前期)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校・前期)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(指定校・後期)

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに、面接等によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(8) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(9) 外国人留学生選抜

志望理由書に基づいて国際政治学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。

日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、小論文、日本留学試験の成績と面接結果に基づいて評価・判定します。

3. 国際政治学科の教育を通じて養う能力

国際政治や世界の国々に関する知識を習得し、国際共通語である英語の力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決を目指すことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

1. 求める学生像

地域行政学科は、様々な入学試験制度による選抜を通じて、学士課程教育を受けるに必要な基礎学力と主体性を備えた人を、受け入れます。選抜過程では、Think Globally, Act LocallyとThink Locally, Act Globallyの理念をともに重視し、ローカルなコミュニティの有り様から社会をとらえる視点を有し、社会が直面する様々な問題を理解し、多様な人々と協働して新たな価値を生み出すことで、社会の持続可能性に貢献する志向を備えているかどうかを判断します。

地域行政学科が求める学生像は、次の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を有する人です。

(1) 知識・技能

高等学校における社会・国語・英語の教科に関する知識・技能。具体的には、ローカルなコミュニティの有り様から社会をとらえる視点と政治・行政や生活者としての知識、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能、論理的に思考・表現する際の基礎となる日本語能力及び国際的なコミュニケーションの基礎となる英語の知識。

(2) 思考力・判断力・表現力

政治や社会の問題を解決するために文献を読解し、それをもとに自ら考察する思考力・判断力、その考察を論理的かつ説得的に示す表現力。

(3) 主体性等

多様な価値観の共存を探りながら、主体性を持って多様な人々と人間関係を創造する能力及び自らの意思を明確に表明しつつ相互理解を図り、地域と協働して課題解決を目指し、社会の発展に貢献する能力。

【入学前に学習しておくことを期待する内容】

大学での学習には幅広い分野の基礎知識が必要です。したがって入学を希望する人は、高等学校における教科・科目の教科書レベルの知識を幅広く習得していることが大切です。特に、社会については高等学校の学習を基本として、入学までに可能な限り社会を読み解く力の向上に努めてください。国語の基礎学力は、大学での授業や演習で文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また、自分の興味関心を広げるために、日本や世界の地域社会に関する様々な本を読むこと、多様な体験をしてみることを勧めます。

2. 入学試験制度と評価

地域行政学科は、以下の入学試験制度ごとに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性等」を多面的・総合的に評価します。それぞれの入学試験制度における評価の比重と評価方法については、別表をご覧ください。

(1) 一般選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力検査と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。後期日程では、個別学力検査で合否ラインの得点帯の受験生について、出身学校調査書に記載される主体性等に関する情報を評価して、個別学力検査の得点に加点したうえで合否判定します。

一般選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(2) 共通テスト利用選抜

入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、大学入学共通テストの成績(英語の資格・検定のみなし得点を含む。)と出身学校調査書によって多面的・総合的に評価します。

共通テスト利用選抜では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(3) 総合型選抜

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、小論文試験等に基づいて知識・技能及び思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、面接等に基づいて、思考力・判断力・表現力及び主体性等を評価します。

総合型選抜では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力、主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(4) 学校推薦型選抜(公募)

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、入試制度の区分に応じた評価方法に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

【専願】

学校推薦型選抜(公募・専願)(英語方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置き、主体性等の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募・専願)(指定資格方式)では、学力の3要素のうち、知識・技能及び主体性等に重点を置き、思考力・判断力・表現力の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

学校推薦型選抜(公募・専願)(課題探究方式)では、学力の3要素のうち、思考力・判断力・表現力及び主体性等に重点を置き、知識・技能の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

学校推薦型選抜(公募・併願)では、学力の3要素のうち、知識・技能、思考力・判断力・表現力に重点を置いて評価・判定します。

(5) 学校推薦型選抜(指定校)

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(指定校)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(6) 学校推薦型選抜(附属校)

【専願】

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・専願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

【併願】

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、学習意欲があることを確認したうえで、面接等に基づいて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等を評価します。

学校推薦型選抜(附属校・併願)では、学力の3要素全てを同じ比重で評価し、出身学校調査書、出身学校長の推薦書の評価を加味して多面的・総合的に評価・判定します。

(7) 帰国生選抜

帰国生選抜は、総合型選抜と同じ方式で評価・判定します。

(8) 外国人留学生選抜

志望理由書に基づいて地域行政学科で学修することの意義を理解し、強く入学を希望していることを確認します。日本留学試験の成績によって日本語運用能力を評価します。さらに面接によって、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等及び日本語でのコミュニケーション能力等を評価したうえで、小論文、日本留学試験の成績と面接結果に基づいて評価・判定します。

3. 地域行政学科の教育を通じて養う能力






政治学、行政学、政策学等に関する知識を習得し、地域の価値・魅力に気づく力を伸ばし、社会における課題の発見及び解決に取り組むことのできる能力、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を持ち、多様な人々と協働する能力を養います。

(別表)国際政治学科・地域行政学科共通 各入試制度における学力の3要素の評価比重と評価方法 (◎は重点評価項目)

区分	入試制度	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等		
		比重	評価方法	比重	評価方法	比重	評価方法	
一般選抜	一般選抜(前期日程)	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ) ・英語資格・検定 (共通テストプラス方式のみ) ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査 ・共通テストの成績 (共通テストプラス方式のみ)			
	一般選抜(後期日程)	◎	・個別学力検査 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査	○	・出身学校調査書	
	共通テスト利用選抜 (前期日程・後期日程)	◎	・共通テストの成績 ・英語資格・検定 ・出身学校調査書	◎	・共通テストの成績			
総合型 選抜	総合型選抜	○	・小論文 ・出身学校調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書	
学校推薦型 選抜	学校推薦型選抜(公募・専願) (英語方式)	◎	・英語 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・自己アピール書	◎	・英語 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書	
	学校推薦型選抜(公募・専願) (指定資格方式)	◎	・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・資格・検定等の証明書 ・自己アピール書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書	
	学校推薦型選抜(公募・専願) (課題探究方式)	○	・小論文 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・自己アピール書	◎	・小論文 ・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書 ・自己アピール書	◎	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書 ・自己アピール書	
	学校推薦型選抜(公募・併願)	◎	・個別学力検査 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	◎	・個別学力検査			
	学校推薦型選抜 (指定校)	国際政治学科 (前期日程・後期日程) 地域行政学科	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書
	学校推薦型選抜(附属校)		○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・志望理由書	○	・面接 ・出身学校長の推薦書 ・出身学校調査書 ・志望理由書

# 2025年度 入学試験スケジュール

**New!** 今年度から全学部・学科で学校推薦型選抜(公募・併願)を新たに実施します(詳細は77ページに記載)。

		2024年 9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月		
<b>総合型選抜</b> ▶P57~ (全学部・学科)  インターネット 出願	●商学部 ●経済科学部 ●人間環境学部 ●健康科学部	出願期間 《インターネット 出願受付》 9/17~9/27 ※帰国生選抜は 郵送	試験日 10/19 合格発表 11/1	入学手続期間 (手続選択制) 《一括手続》 11/5 11/15 《分割手続(第1次)》 11/5 11/15						
	●人文学部 ●法学部 ●国際コミュニティ学部		試験日 10/20 合格発表 11/1					入学手続期間 (手続選択制) 《分割手続(第2次)》 2/25~3/4		
<b>帰国生選抜</b> ▶P95~ ●人文学部 ●法学部 ●国際コミュニティ学部										
<b>学校推薦型                      選抜(公募)</b> ▶P77~ (全学部・学科)  インターネット 出願	<b>専願</b> 全学部・学科		出願期間 《インターネット 出願受付》 11/1 11/13	試験日 11/30	合格発表 12/5					
	<b>併願</b> 全学部・学科							入学手続期間 《分割手続(第2次)》3/10~3/17(消印有効)		
<b>学校推薦型                      選抜(指定校)</b> ▶P77~ (全学部・学科)  インターネット 出願			出願期間 《インターネット 出願受付》 11/1~11/13	試験日 12/1 合格発表 12/5	入学手続期間 (手続選択制) 《一括手続》 12/6~12/18 《分割手続(第1次)》 12/6~12/18			入学手続期間 (手続選択制) 《分割手続(第2次)》 2/25~3/4		
	<b>後期                      日程</b> ●商学部 ●国際コミュニティ学部 国際政治学科				出願期間 《インターネット出願受付》 商学部:12/9~12/19 《郵送受付》 国際政治学科:12/9~12/26(必着)	試験日 合格発表 1/11 1/16		入学手続期間 《一括手続》 2/14~2/20		
<b>一般選抜</b> ▶P33~ (全学部・学科) 前期日程 ▶P33~ 後期日程 ▶P49~  インターネット 出願	<b>前期A日程</b> 全学部・学科						試験日 2/1	入学手続期間(手続選択制)		
	<b>前期B日程</b> 全学部・学科					出願期間 《インターネット出願受付》 1/6~1/21	試験日 2/2	合格発表 2/13	《一括手続》 2/14~2/20 《分割手続(第1次)》 2/14~2/20	《分割手続(第2次)》3/10~3/24(必着)
	<b>前期C日程</b> 全学部・学科							試験日 2/3		
	<b>後期日程</b> 全学部併願制							出願期間 《インターネット出願受付》 2/13~2/25	試験日 3/4 合格発表 3/8	入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》3/10~3/17 《分割手続(第1次)》3/10~3/17 《分割手続(第2次)》3/18~3/24(必着)
<b>共通テスト                      利用選抜</b> ▶P45~ (全学部・学科)  インターネット 出願	<b>前期日程</b> ▶P45~ 全学部併願制					出願期間 《インターネット出願受付》 1/6~1/21	合格発表 2/13	入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》2/14~2/20 《分割手続(第1次)》2/14~2/20	《分割手続(第2次)》3/10~3/24(必着)	
	<b>後期日程</b> ▶P53~ 全学部併願制							出願期間 《インターネット出願受付》 2/13~2/25	個別学力検査は ありません 合格発表 3/8	入学手続期間(手続選択制) 《一括手続》3/10~3/17 《分割手続(第1次)》3/10~3/17 《分割手続(第2次)》3/18~3/24(必着)
<b>社会人選抜</b> ▶P99~ ●人文学部社会学科 ●人文学部教育学科 ●人間環境学部 <b>外国人留学生選抜</b> (全学部・学科)				出願期間 《郵送受付》 社会人:12/9~12/19(必着) 外国人留学生:12/9~12/26(必着)	試験日 合格発表 1/11 1/16		入学手続期間 《一括手続》 2/14~2/20			

★インターネット出願初日のみ8:45~受付開始。受付最終日の登録は15:00まで、検定料入金は16:00までです。



# 一般選抜 (前期日程)

## 試験日・試験地・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	方式	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》			
						一括手続	分割手続		
全学部 全学科	1/6(月)~1/21(火) ※出願初日のみ8:45~ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効	2025年 A日程 2/1 (土)	受験必須 スタンダード方式	広島 (本学) 福山 三次 三原 山口市 周南市 岡山 松江 浜田 松山 今治 高松 福岡 北九州	2025年 2/13 (木)	2025年 2/14(金)~ 2/20(木)	《第1次入学手続》 2025年 2/14(金)~ 2/20(木)		
		2025年 B日程 2/2 (日)	併願可 高得点科目重視方式 共通テストプラス方式					2025年 2/14(金)~ 2/20(木) 締切日消印有効	《第2次入学手続》 2025年 3/10(月)~ 3/24(月) 締切日必着
		2025年 C日程 2/3 (月)	全日程共通で 3方式を実施						

## POINT 01 1日につき3つの方式で選抜を実施します!

- ①スタンダード方式【受験必須】**  
どの日程でも**受験必須**とし、英語+国語+選択科目の**3科目の合計点**で判定します。
- ②高得点科目重視方式【併願可】**  
スタンダード方式で受験した3科目のうち**2科目**で判定します。**得意科目を活かして併願**できます。
- ③共通テストプラス方式【併願可】**  
スタンダード方式の**高得点科目**、共通テストの**高得点科目**、**英語資格を活かして併願**できます。

### 受験必須 スタンダード方式

英語の配点は150点の学科と100点の学科があります。国語と選択科目の配点は全学科100点です。



### 併願可 高得点科目重視方式

スタンダード方式で受験した3科目のうち、**2科目**を使用して合否判定をします。

(例)英語と国語の得点が高かった場合、選択科目の得点は合否判定に使用しません。(詳細36ページ)

英語	国語	選択	=	英語・国語の合計
63点	60点	55点		123点で判定

### 併願可 共通テストプラス方式

スタンダード方式と大学入学共通テスト両方の**高得点科目**、**英語資格**を活かして併願できます。

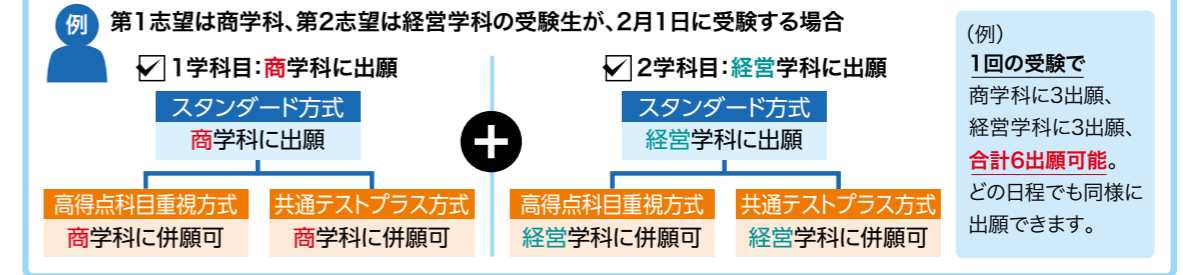
スタンダード方式	共通テスト	両試験合計
100点×2科目	+ 100点×2科目	= 400点満点

指定する英語資格を取得していれば、共通テストの英語の得点に換算します。(詳細37ページ)

# 一般選抜 (前期日程)

## POINT 02 1日につき2学科まで併願できます!

2月1日から3日までの全日程において、**1日につき2学科まで併願**できます。各日程において、**すべての学科から選んで**出願可能です。これにより、第1志望学科に加えて、第2志望学科まで、**1回の受験で同時に**合否判定を受けることが可能です。さらに、3つの方式を組み合わせると、**1回の受験で1学科につき3出願可**(2学科出願すると、1回の受験で最大6出願可。3日間で最大18出願可)となり、受験機会が広がります。



### 併願の注意点

高得点科目重視方式と共通テストプラス方式は、スタンダード方式で受験した科目の得点を利用します。このため、スタンダード方式を受験せずに、高得点科目重視方式のみの出願や、共通テストプラス方式のみの出願はできません。また、**高得点科目重視方式と共通テストプラス方式において出願できる学科は、スタンダード方式に出願した学科**となります。

## POINT 03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度 (詳細は102ページ)

「スタンダード方式」「高得点科目重視方式」「共通テストプラス方式」の3つの方式を、同一日・同一学科に出願すると**3方式セット割引**が適用されます。**また、スタンダード方式は2出願目から大幅に値引きされます。**

※割引制度は、**1度の出願登録**で、複数出願する場合のみ、適用されます。追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。



## POINT 04 全日程で自宅から近い入学試験場で受験が可能!

本学の他に、西日本の各地に入学試験場を設置。全試験場、同じ時間、同じ問題で試験を実施します。自宅から近い試験場を利用すれば、交通費や宿泊費などの経済面はもちろん、精神面でも余裕ができます。

### 入学試験場のご案内



### 出願資格

次のいずれかに該当する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までこれに該当する見込みの者。この出願資格については2024年11月22日(金)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

## 学科・方式毎の配点について

**POINT** スタンダード方式、高得点科目重視方式、共通テストプラス方式の配点は、学科・方式により「英語を重視するパターン①」と、「受験科目全てを同等の比重で扱うパターン②」の2パターンに分かれます。出願する学科・方式がどちらのパターンになっているのかをよく確認して出願してください。

### スタンダード方式

パターン①：英語の配点は**150点**、国語と選択科目の配点は100点。  
パターン②：英語、国語、選択科目の配点は**すべて100点**。

### 高得点科目重視方式 共通テストプラス方式

パターン①：**英語は必ず合否判定に使用し**、他に受験した科目のうち**高得点1科目**を使用。  
パターン②：受験した科目のうち、**高得点2科目**を使用。

### 学科・方式別 配点パターン表

学科	スタンダード方式		高得点科目重視方式		共通テストプラス方式	
	①英語150点	②全科目100点	①英語+1科目	②高得点2科目	①英語+1科目	②高得点2科目
商	●	—	—	●	—	●
経営	●	—	—	●	—	●
社会	●	—	●	—	●	—
教育	—	●	—	●	—	●
英語英文	●	—	●	—	●	—
法律	—	●	—	●	—	●
現代経済	—	●	—	●	—	●
経済情報	—	●	—	●	—	●
人間環境	—	●	—	●	—	●
心理	—	●	—	●	—	●
健康栄養	—	●	—	●	—	●
国際政治	●	—	●	—	●	—
地域行政	—	●	—	●	—	●

## 必須 スタンダード方式 2/1(土)・2/2(日)・2/3(月) 必ず3科目を受験してください

**POINT** 1日程につき2つの学科に出願できます。各日程において、すべての学科から選んで出願できます。どの日程でも受験必須とし、英語+国語+選択科目の3科目の合計点で判定します。

■英語の配点は**150点の学科と100点の学科**があります。国語と選択科目は全学科100点です。

**パターン①** 英語**150点** 【対象】商学科、経営学科、社会学科、英語英文学科、国際政治学科

**パターン②** 英語**100点** 【対象】教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科、地域行政学科

$$\begin{matrix} \text{英語} & 150\text{点} \\ \text{または} & \\ \text{英語} & 100\text{点} \end{matrix} + \text{国語 } 100\text{点} + \text{選択科目 } 100\text{点} = \begin{matrix} 350\text{点満点} \\ \text{または} \\ 300\text{点満点} \end{matrix}$$

### 試験内容 (試験科目は全学科共通とし、共通の問題を使用します)

受験	教科/試験科目	試験日	出題範囲	配点	時間
必須	国語		現代の国語、言語文化(漢文を除く)	100点	10:20~11:30(70分)
必須	外国語 英語		英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II	150点または100点	13:00~14:10(70分)
選択科目1科目	世界史	2/1(土)	歴史総合(主に世界史分野)、世界史探究	100点	15:00~16:10(70分)
	日本史	2/2(日)	歴史総合(主に日本史分野)、日本史探究		
	地理	2/3(月)	地理総合、地理探究		
	政治・経済		政治・経済		
	数学		数学I、数学A、数学II		
	理科		化学基礎・生物基礎		
	化学・生物	2/1(土)・2/2(日)	化学基礎・生物(生命現象と物質、生殖と発生、生物の環境応答)		

\* 当日は、9:50までに試験室に入室してください。 \* 数学と理科以外の科目は、全部または一部マークシート方式で実施します。

## 併願 高得点科目重視方式

スタンダード方式での3科目受験が必須

### POINT

スタンダード方式で受験した3科目のうち、**2科目を使用して**判定します。高得点科目を重視するので、**得意な科目を活かして**受験できます。高得点科目の使用法は、学科により**2パターン**に分かれます。

スタンダード方式に出願した学科で併願可

**パターン①** 「英語」は必ず合否判定に使用し、「国語と選択科目」は**高得点1科目**を使用。  
1科目100点×2科目の合計200点満点で判定。

【対象】社会学科、英語英文学科、国際政治学科

$$\text{英語 } 100\text{点} + \begin{matrix} \text{国語または選択科目のうち} \\ \text{高得点科目を使用} \\ \text{国語 } 100\text{点} \cdot \text{選択科目 } 100\text{点} \end{matrix} = 200\text{点満点}$$

(スタンダード方式の英語の配点150点を100点に換算します)

例

$$\begin{matrix} \text{英語} \\ 60\text{点} \\ (\text{必ず合否判定に使用}) \end{matrix} + \begin{matrix} \text{国語} \\ 57\text{点} \\ (\text{合否判定に使用}) \end{matrix} + \begin{matrix} \text{選択科目} \\ 63\text{点} \\ (\text{合否判定に使用}) \end{matrix} = \begin{matrix} \text{2科目の合計} \\ (\text{英語+選択科目}) \\ 123\text{点} \end{matrix}$$

国語と選択科目では、選択科目の得点が高かったため、選択科目を判定に使用する。

**パターン②** 「英語」、「国語」、「選択科目」のうち、**高得点2科目**を合否判定に使用。  
1科目100点×2科目の合計200点満点で判定。

【対象】商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科、地域行政学科

$$\begin{matrix} \text{英語 } 100\text{点} \\ \cdot \\ \text{国語 } 100\text{点} \\ \cdot \\ \text{選択科目 } 100\text{点} \end{matrix} = 200\text{点満点}$$

(スタンダード方式の英語の配点が150点の学科については、英語の配点を100点に換算します)

例

$$\begin{matrix} \text{英語} \\ 63\text{点} \\ (\text{合否判定に使用}) \end{matrix} + \begin{matrix} \text{国語} \\ 60\text{点} \\ (\text{合否判定に使用}) \end{matrix} + \begin{matrix} \text{選択科目} \\ 57\text{点} \\ (\text{合否判定に使用}) \end{matrix} = \begin{matrix} \text{2科目の合計} \\ (\text{英語+国語}) \\ 123\text{点} \end{matrix}$$

3科目中、得点が高かった英語+国語の2科目で判定

例

$$\begin{matrix} \text{英語} \\ 57\text{点} \\ (\text{合否判定に使用}) \end{matrix} + \begin{matrix} \text{国語} \\ 63\text{点} \\ (\text{合否判定に使用}) \end{matrix} + \begin{matrix} \text{選択科目} \\ 60\text{点} \\ (\text{合否判定に使用}) \end{matrix} = \begin{matrix} \text{2科目の合計} \\ (\text{国語+選択科目}) \\ 123\text{点} \end{matrix}$$

3科目中、得点が高かった国語+選択科目の2科目で判定

### 「得意な科目」を活かして合格をつかもう!

(例)「スタンダード方式」と「高得点科目重視方式」に出願したAさんの場合

スタンダード方式		高得点科目重視方式	
英語(100点満点)	55点	英語 <b>高得点科目</b>	55点
国語(100点満点)	50点	国語	<del>50点</del>
日本史(100点満点)	70点	日本史 <b>高得点科目</b>	70点
合計点(300点満点)	175点 (得点率58.3%)	合計点(200点満点)	125点 (得点率62.5%)
合格最低点	180点(得点率60%)	合格最低点	120点(得点率60%)

### 高得点科目の点数が使用され、合格へ!

Aさんはスタンダード方式では得点率58.3%で不合格でしたが、得意科目を活かすことができる高得点科目重視方式では得点率62.5%になり、合格することができました。得意な科目を活かせることがこの制度のメリットです。

# 併願 共通テストプラス方式

スタンダード方式での3科目受験と大学入学共通テストの受験が必須

## POINT1 得意科目を活かせる!

「スタンダード方式で受験した2科目」と「大学入学共通テストで受験した2科目」の合計点で合否判定をします。高得点科目重視方式と同様に得意な科目を活かして受験することができます。

スタンダード方式に  
出願した学科で併願可

## POINT2 英語資格を活用できる!

本学が指定する英語資格を取得していれば、スコア・級に応じて大学入学共通テストの英語の得点を「満点の8割または満点」に換算します(みなし得点)。合否判定には、大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれか高い方の得点を使用します。これにより、得意な科目だけでなく、英語資格も活かして受験することができます。英語の資格検定を利用する場合、共通テストの「英語」の受験は任意とし、受験していない場合は、みなし得点を合否判定に使用します。

### 英語資格 みなし得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)※(CBTタイプも可)	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

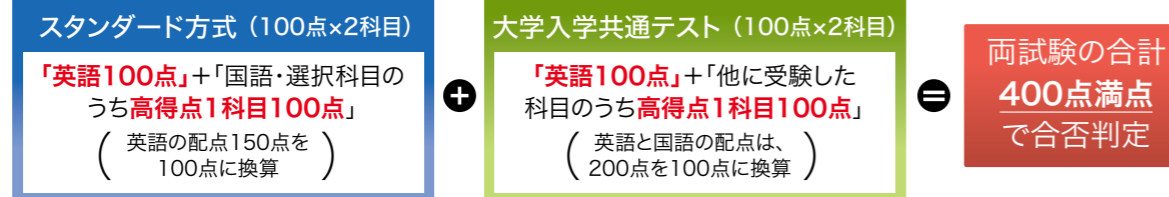
※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

## POINT3

高得点科目の使用方法は、学科により2パターンに分かれます。

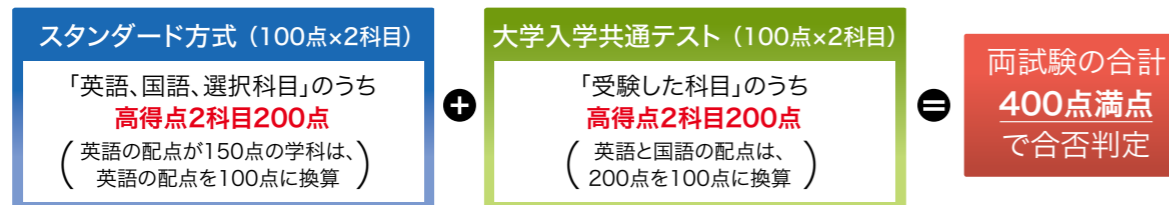
パターン① 「英語」は必ず合否判定に使用し、「国語と選択科目」は高得点1科目を使用。

【対象】 社会学科、英語英文学科、国際政治学科



パターン② 受験した科目のうち、高得点2科目を使用。

【対象】 商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科、地域行政学科



※旧教育課程履修者への経過措置について:令和7年度大学入学共通テストで、経過措置として出題される旧教育課程科目を使用できることとします。

# 共通テストプラス方式 試験内容・配点

パターン① 【対象】 社会学科、英語英文学科、国際政治学科

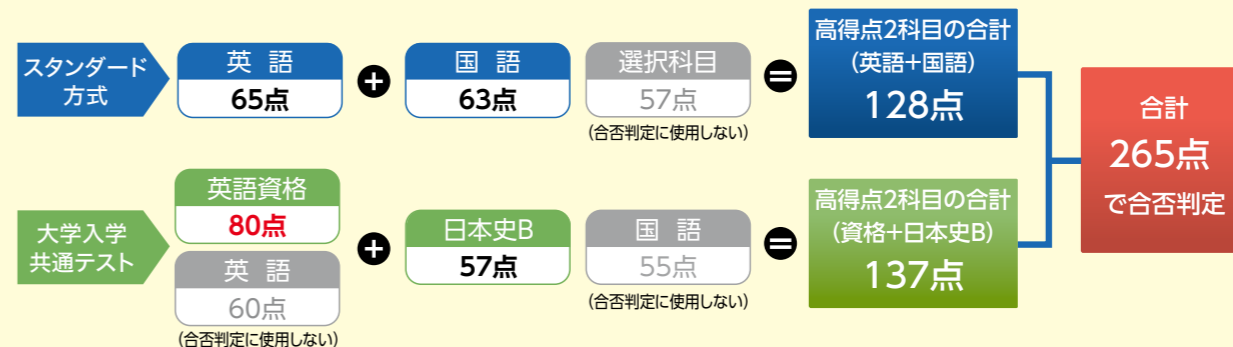
試験種別	受験	教科/試験科目	出題範囲	配点	備考	
一般選抜(スタンダード方式)	必須	外国語 英語	英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II	100点	英語は必ず合否判定に使用し、国語と選択科目は高得点の1科目を使用 スタンダード方式の英語の配点150点を100点に換算	
	必須	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く)	100点×1科目		
	選択科目1科目	地理歴史	世界史 日本史			歴史総合(主に世界史分野)、世界史探究 歴史総合(主に日本史分野)、日本史探究
		地理	地理総合、地理探究			
	公民	政治・経済	政治・経済			
	数学	数学I、数学A、数学II				
理科	化学・生物 生物	化学基礎・生物基礎 生物基礎・生物(生命現象と物質、生殖と発生、生物の環境応答)				
試験種別	受験	教科	科目	配点	備考	
大学入学共通テスト	必須	外国語 英語	[英語]	100点	英語は必ず合否判定に使用し、他に受験した科目のうち高得点の1科目を使用 英語はリーディング100点、リスニング100点、合計200点を100点に換算 国語は200点を100点に換算	
	いずれか1科目	国語	[国語]近代以降の文章および古典(古文、漢文)	100点×1科目		
		地理歴史・公民	[地理総合、地理探究][歴史総合、日本史探究] [歴史総合、世界史探究] [公共、倫理][公共、政治・経済][地理総合/歴史総合/公共]			
		数学①	[数学I、数学A][数学I]			
		数学②	[数学II、数学B、数学C]			
		理科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎] [物理][化学][生物][地学]			
情報	[情報I]					

パターン② 【対象】 商学科、経営学科、教育学科、法律学科、現代経済学科、経済情報学科、人間環境学科、心理学科、健康栄養学科、地域行政学科

試験種別	受験	教科/試験科目	出題範囲	配点	備考	
一般選抜(スタンダード方式)	必須	外国語 英語	英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II	100点×2科目	受験した3科目のうち高得点の2科目を合否判定に使用 スタンダード方式の英語の配点が150点の学科については、英語の配点を100点に換算	
	必須	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く)			
	選択科目1科目	地理歴史	世界史 日本史			歴史総合(主に世界史分野)、世界史探究 歴史総合(主に日本史分野)、日本史探究
		地理	地理総合、地理探究			
	公民	政治・経済	政治・経済			
	数学	数学I、数学A、数学II				
理科	化学・生物 生物	化学基礎・生物基礎 生物基礎・生物(生命現象と物質、生殖と発生、生物の環境応答)				
試験種別	受験	教科	科目	配点	備考	
大学入学共通テスト	必須	外国語 英語	[英語]	100点×2科目	受験した科目のうち高得点の2科目を合否判定に使用 英語はリーディング100点、リスニング100点、合計200点を100点に換算 国語は200点を100点に換算	
	いずれか2科目	国語	[国語]近代以降の文章および古典(古文、漢文)			
		地理歴史・公民	[地理総合、地理探究][歴史総合、日本史探究] [歴史総合、世界史探究] [公共、倫理][公共、政治・経済][地理総合/歴史総合/公共]			
		数学①	[数学I、数学A][数学I]			
		数学②	[数学II、数学B、数学C]			
		理科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎] [物理][化学][生物][地学]			
情報	[情報I]					

## 「得意な科目」と「英語資格」を活かして合格をつかもう!

(例) 「英検2級(みなし得点80点)」を取得しており、共通テストの英語が60点(100点換算後)だった場合



## 試験場案内

※三原試験場のみ、出願時の先着順とし、人数制限を設けます。

### 広島修道大学(本学) 広島市安佐南区大塚東1-1-1 **全日程**

※試験場の下見はできますが、建物内に入ることできません。また、本学以外の試験場およびその周辺には、駐車場がありませんので、公共交通機関を利用し、時間に余裕を持って集合してください。  
 ※検定料入金後の試験場の変更はできません。出願の際は、間違いないようご注意ください。



アストラムライン 県庁前駅	約36分	アストラムライン	約32分	広島公園前駅 (修道大学前)
広島駅	約3分 取山線 JR可部線	新白鳥駅	約18分	アストラムライン
広島バスセンター	約5分 取山線 JR可部線	大町駅	約19分	アストラムライン
西広島駅	約7分	横川駅	約24分	バス「五月が丘団地」 (広島高速4号線 経由)
広島港	約30分	本通	約37分	アストラムライン
マイカー利用	五田市IC 左に出でず			

\*曜日によって運行されないものもありますので十分注意してください。

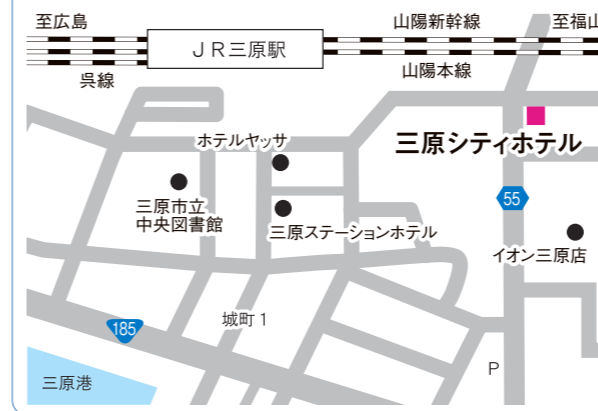


### 三原試験場

※三原試験場のみ、出願時の先着順とし、人数制限を設けます。

三原シティホテル 三原市城町2-2-2

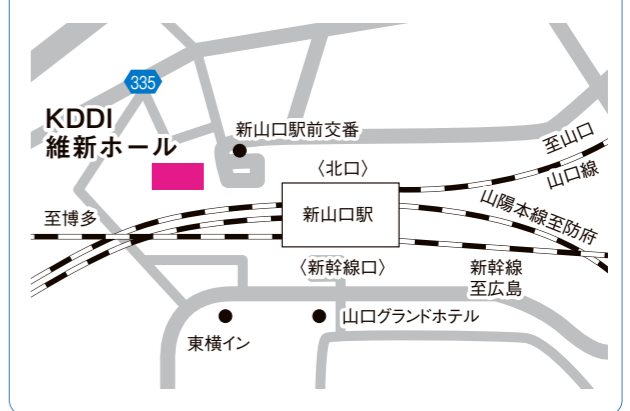
JR三原駅から ●徒歩3分



### 山口市試験場

KDDI維新ホール 山口市小郡令和1-1-1

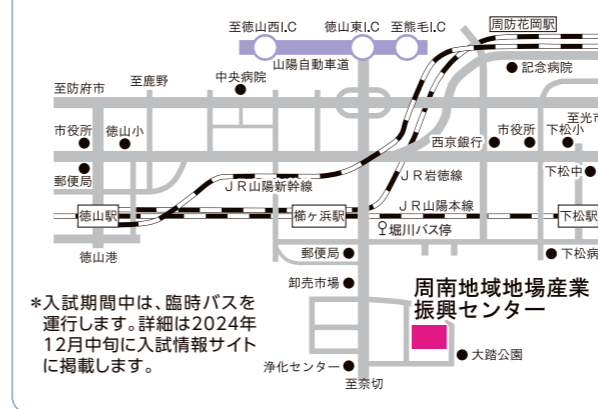
JR新山口駅北口から ●直結



### 周南市試験場

周南地域地場産業振興センター 周南市鼓海2-118-24

JR櫛ヶ浜駅から ●徒歩25分

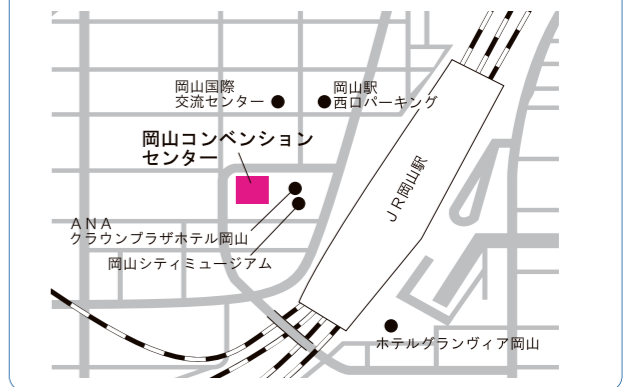


\*入試期間中は、臨時バスを運行します。詳細は2024年12月中旬に入試情報サイトに掲載します。

### 岡山試験場

岡山コンベンションセンター 岡山市北区駅元町14-1

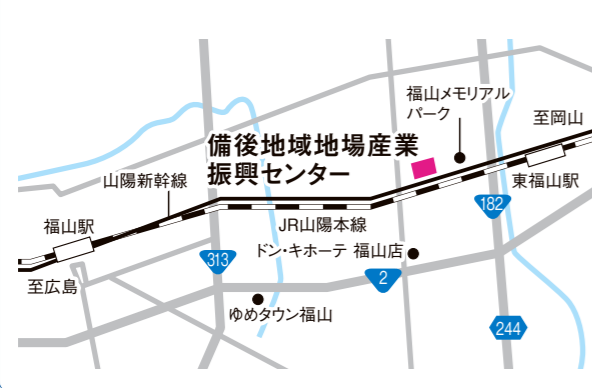
JR岡山駅中央改札口から ●徒歩3分



### 福山試験場

備後地域地場産業振興センター 福山市東深津町3-2-13

JR東福山駅から ●徒歩17分



### 三次試験場

三次市民ホール きりり 三次市三次町111-1

JR三次駅から ●徒歩20分



### 松江試験場

島根県民会館 松江市殿町158

JR松江駅から ●バスで10分、「県民会館前」下車



### 浜田試験場

いわみーる 浜田市野原町1826-1

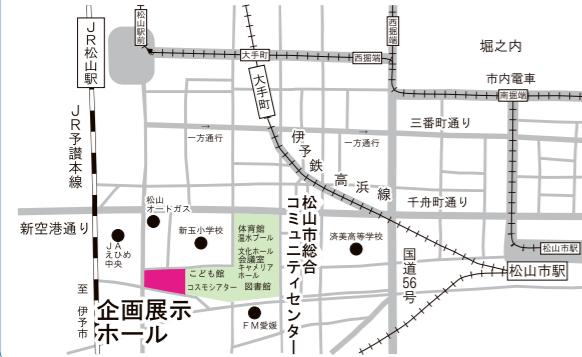
JR浜田駅から ●バスで10分 大学線「いわみーる」下車



## 松山試験場

松山市総合コミュニティセンター  
企画展示ホール 松山市湊町7-5

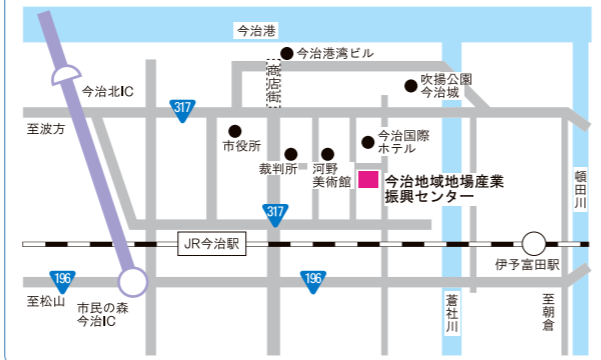
JR松山駅から ●徒歩10分  
伊予鉄電車高浜線松山市駅から ●徒歩10分



## 今治試験場

今治地域地場産業振興センター  
(じばさんセンター) 今治市旭町2-3-5

JR今治駅から ●徒歩10分



## 高松試験場

サンポートホール高松 高松市サンポート2-1

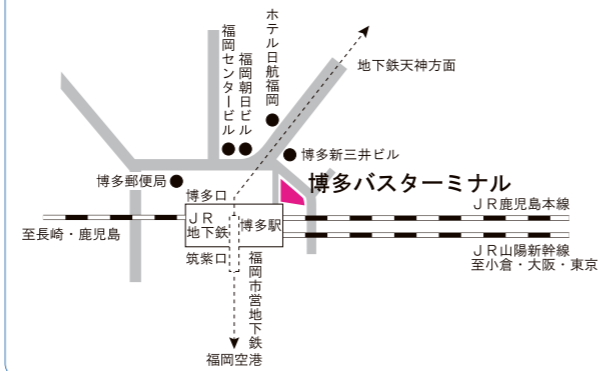
JR高松駅から ●徒歩3分  
ことでん高松築港駅から ●徒歩5分



## 福岡試験場

博多バスターミナル 9階  
福岡市博多区博多駅中央街2-1

JR博多駅「博多口」から ●徒歩1分

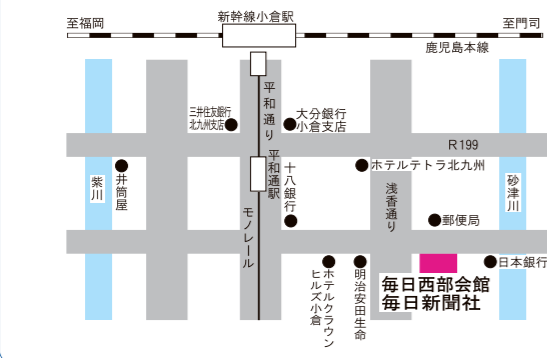


## 北九州試験場

毎日西部会館 [(株)毎日ビルディング]

北九州市小倉北区紺屋町13-1

JR小倉駅から ●徒歩9分  
都市モノレール線平和通駅から ●徒歩5分



# 全学部共通事項

## 1. 選抜方法

- (1) 英語、国語および選択科目の合計得点と調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。
- (2) A日程、B日程、C日程・方式の募集人員は、日程ごとの受験者数に応じて、按分します。
- (3) A日程、B日程、C日程・方式それぞれ別に合否を判定します。
- (4) 英語、国語および選択科目の得点は「中央値補正法」により、問題難易差による得点差を調整します。

## 2. 入学検定料

1出願で27,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス15,000円となります。  
 高得点科目重視方式と共通テストプラス方式を同時に出願すると、3方式セット割引の対象となり入学検定料がさらに割引されます。  
 詳細は102ページを参照してください。  
 ※提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

## 3. 出願期間・出願方法



出願は、インターネット出願「シュューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願期間】2025年1月6日(月)～1月21日(火) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1) シューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
- (2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
- (3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください。(締切日消印有効)  
 ※シュューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

### 【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。  
 その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願ページ「シュューダイレクト」の「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。  
 シューダイレクトからダウンロードする出願書類はすべてA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。  
**写真票はカラー印刷**し、当日持参してください。

- (1) 出願シート(共通テストプラス方式に出願する者は、大学入学共通テスト成績請求票を貼付)
- (2) 資格・検定等の証明書(写)(共通テストプラス方式で英語資格を利用する者のみ)
- (3) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)

※**前期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通**で結構です。  
 ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。  
 ※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。**合格証書ではありませんのでご注意ください。**  
 ※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

## 5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2024年11月22日(金)までに本学入学センターに問い合わせてください。  
 大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

## 6. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は109ページを参照してください。

## 7. 合格発表

### 1. 合格発表について

#### (1) 合格発表日: 2025年2月13日(木) 10:00(予定)

合格者に「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。  
 なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、2月17日(月)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

#### (2) 合否確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの合否照会画面から合否結果を確認することができます。詳細については110ページを確認してください。

### 2. 補欠者の繰り上げ合格について(全学部対象)

一般選抜(前期日程)スタンダード方式を対象に、以下の要領で補欠者の繰り上げ合格を通知します。**ただし、補欠者の繰り上げ合格は、入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合に限り行うものであり、繰り上げ合格を行わない(補欠者の繰り上げ合格者がいない)場合もあります。よって、補欠者全員が繰り上げ合格となるものではありません。**

#### (1) 補欠者の発表日

##### 2025年2月13日(木) 10:00(予定)

補欠者に「補欠者通知書」を速達で郵送します。

#### (2) 補欠者確認の補助手段について

上記1の(2)と同様に、出願の際に登録したマイページの合否照会画面から補欠者であることを確認できます。

#### (3) 補欠者の繰り上げ合格発表日

##### ■ 1回目: 2025年2月21日(金) 15:00(予定)

繰り上げ合格者に、「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。また、本学入試情報サイトにて、補欠者の繰り上げ合格について掲載します(インターネットによる合否照会には使用しません)。

##### ■ 2回目: 2025年3月25日(火) 10:00～(予定)

繰り上げ合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

#### 【注意点】

- ① 補欠者は、本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。
- ② 補欠者の繰り上げ合格は、欠員が充足した時点で終了します。
- ③ 欠員の状況により、補欠者以外の受験生を対象とし、追加合格を通知する場合があります。その場合も、電話連絡により入学の意思を確認します。注意点は、上記①②と同様です。

\*「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。  
 \*合格発表、補欠者の発表、補欠者の繰り上げ合格および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

## 8. 入学試験成績(一般選抜)の開示について

本学では、希望者(受験者本人)に対して、入学試験の成績を次のように開示します。

- (1) 受付期間/2025年4月7日(月)～4月18日(金)
- (2) 開示する入試制度および内容 <一般選抜> 個人入試科目別(得点調整後)成績
- (3) 開示対象者 一般選抜を受験して不合格となった者
- (4) 開示手続きについて

#### ① 入試成績開示申請の受付

成績開示希望の旨を上記期間内に、本学入学センターに申し出てください。申し出を受けて、本学より「入試成績開示申請書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ、上記期間内に提出してください。  
 郵送で提出する場合、封筒に「入試成績開示申請書在中」と明記し、本学入学センター宛に郵送してください。**締切日必着ですので、郵送に要する日数を確認し、申し出てください。**受付期間最終日またはその前日に申し出た場合、開示ができなくなることがあります。

#### ② 入試成績の開示

入試成績開示を許可した者に、「入試成績開示決定通知書」を発送します。  
 入試成績開示は、受験生本人(代理は不可)であることを確認のうえ、本学(入学センター)で行います。  
 受験票および本人が確認できる書類を持参してください。

受験上の注意は109ページを参照してください。



# 共通テスト利用選抜 (前期日程)

## 試験日・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
				一括手続	分割手続
全学部 全学科	<b>インターネット</b> 《インターネット出願受付》 2025年 1/6(月)～1/21(火) ※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効	本学での個別学力 検査はありません  大学入学共通テスト 2025年 1/18(土)・1/19(日)	2025年 2/13(木)	2025年 2/14(金)～ 2/20(木) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2025年 2/14(金)～ 2/20(木)  《第2次入学手続》 2025年 3/10(月)～ 3/24(月) 締切日必着

## 出願資格

次のいずれかに該当する者で令和7年度大学入学共通テスト(2025年1月18日(土)、19日(日)に実施)において本学が指定する教科・科目を受験する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2024年11月22日(金)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

インターネット出願 **インターネット** を  
ご利用ください。受験生のみさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

## 入試制度の特徴・入試日程

1月に実施される大学入学共通テストの成績と調査書で多面的・総合的に評価・判定する入試です。  
**本学の個別学力検査はありません。**一般選抜(前期日程)との併願が可能のほか、全学部・学科に併願できるのも、この入試の特徴です。

### 01 大学入学共通テストの成績を利用

大学入学共通テストに出願し、2025年1月18日(土)・19日(日)に実施される試験を受験してください。  
**大学入学共通テストにおいて、必ず本学が指定した科目を受験してください。**

### 02 全学部・学科の併願が可能

7学部13学科すべての学部・学科で併願できます。(最大13出願可能)

### 03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

**複数出願割引**

**2出願目から割引されます**

1出願のみ  
15,000円

→

1出願追加毎に  
+5,000円

**最大13  
出願可能**

割引制度は、一度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

## POINT みなし得点

**「英語」の資格・検定試験で基準を満たせば、「英語」の得点を満点の8割または満点にします。**

本学が指定する**英語資格を取得していれば、スコア・級に応じて「大学入学共通テストの英語の得点」に換算。**  
 合否判定には、**大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれか高い方の得点を使用します。**  
 英語の資格検定を利用する場合、共通テストの「英語」の受験は任意とし、受験していない場合は、みなし得点を合否判定に使用します。

### 英語資格の得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)※(CBTタイプ可)	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

旧教育課程履修者への経過措置について:令和7年度大学入学共通テストで、経過措置として出題される旧教育課程科目を使用できることとします。

経済科学部を除く全学部

\*本学での個別学力検査はありません

**商学部**  
THE FACULTY OF COMMERCIAL SCIENCES  
商学科 経営学科

**人文学部**  
THE FACULTY OF HUMANITIES AND HUMAN SCIENCES  
社会学科 教育学科 英語英文学科

**法学部**  
THE FACULTY OF LAW  
法律学科

**人間環境学部**  
THE FACULTY OF HUMAN ENVIRONMENTAL STUDIES  
人間環境学科

**健康科学部**  
THE FACULTY OF HEALTH SCIENCES  
心理学科 健康栄養学科

**国際コミュニティ学部**  
THE FACULTY OF GLOBAL AND COMMUNITY STUDIES  
国際政治学科 地域行政学科

配点 \*必ず指定された3科目を受験してください

外国語 200点 + 国語 200点 + 選択科目 100点 = 500点満点

試験内容

受験	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語][ドイツ語][フランス語][中国語][韓国語]	200点	[英語]はリーディング100点・リスニング100点 ※英語英文学科のみ、外国語は[英語]に限定する
必須	国語	[国語]近代以降の文章および古典(古文,漢文)	200点	
選択科目1科目	地理歴史・公民	[地理総合,地理探究][歴史総合,日本史探究] [歴史総合,世界史探究][公共,倫理] [公共,政治・経済][地理総合/歴史総合/公共]	選択科目 1科目 100点	選択科目を2科目以上受験していた場合は、 最高得点科目の得点を合否判定に使用する
	数学①	[数学I,数学A][数学I]		
	数学②	[数学II,数学B,数学C]		
	理科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎] [物理][化学][生物][地学]		
	情報	[情報I]		
合計			「外国語」+「国語」+「選択1科目」の3科目合計 500点満点	

**経済科学部** THE FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES  
現代経済学科 経済情報学科 \*本学での個別学力検査はありません

配点 \*必ず指定された3科目を受験してください

外国語 200点 + 国語 200点 + 地理歴史・公民 200点 + 数学・理科・情報のうち最高得点1科目200点 = 600点満点

試験内容

受験	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語][ドイツ語][フランス語][中国語][韓国語]	200点	[英語]はリーディング100点・リスニング100点
選択科目1科目	国語	[国語]近代以降の文章および古典(古文,漢文)	選択科目 1科目 200点	選択科目を2科目以上受験していた場合は、 最高得点科目の得点を合否判定に使用する (100点の科目は200点に換算)
	地理歴史・公民	[地理総合,地理探究][歴史総合,日本史探究] [歴史総合,世界史探究][公共,倫理] [公共,政治・経済][地理総合/歴史総合/公共]		
選択科目1科目	数学①	[数学I,数学A][数学I]	選択科目 1科目 200点	選択科目を2科目以上受験していた場合は、 最高得点科目の得点を合否判定に使用する (100点の科目は200点に換算)
	数学②	[数学II,数学B,数学C]		
	理科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎] [物理][化学][生物][地学]		
	情報	[情報I]		
合計			「外国語」+「選択科目2科目」の3科目合計 600点満点	

全学部共通事項

1. 選抜方法

大学入学共通テストの得点および調査書を資料として、多面的・総合的に評価・判定します。

2. 入学検定料

1出願で15,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス5,000円となります。

(例) 2出願	20,000円	3出願	25,000円
---------	---------	-----	---------

※全学部・学科に併願可能です。

※提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。

3. 出願期間・出願方法



出願は、インターネット出願「シュューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願期間】2025年1月6日(月)～1月21日(火) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1)シュューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
- (2)入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
- (3)出願書類を郵送する:出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください(締切日消印有効)。  
※シュューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては101～108ページを参照してください。

【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、**本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合があります**ので、あらかじめご了承ください。

4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願ページ「シュューダイレクト」の「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。シュューダイレクトからダウンロードする出願書類はすべてA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。

- (1) 出願シート(所定欄に大学入学共通テスト成績請求票を貼付) ※カラー印刷
- (2) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)
- (3) 資格・検定等の証明書(写)(英語資格を利用する者のみ)  
※前期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通で結構です。  
ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。  
※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。  
合格証書ではありませんのでご注意ください。  
※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2024年11月22日(金)までに本学入学センターにお問い合わせください。  
大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

6. 合格発表

合格発表日:2025年2月13日(木) 10:00(予定)

- (1) 合格者には、「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。  
なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、2月17日(月)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。
- (2) 合否確認の補助手段について  
出願の際に登録したマイページの合否照会画面から合否結果を確認することができます。詳細については110ページを確認してください。
- (3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合に限り、追加合格を発表することがあります。  
なお、追加合格がある場合は、2025年2月21日(金) 15:00に本学入試情報サイトで発表する予定です。

※「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。  
※合格発表および追加合格に関する本学への電話での問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。



# 一般選抜 (後期日程)

## 試験日・試験地・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
					一括手続	分割手続
全学部 全学科	<b>インターネット</b> 《インターネット出願受付》 2025年 2/13(木)～2/25(火) ※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効	2025年 3/4(火)	広島 (本学)	2025年 3/8(土)	2025年 3/10(月)～ 3/17(月) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2025年 3/10(月)～ 3/17(月)  《第2次入学手続》 2025年 3/18(火)～ 3/24(月) 締切日必着

## 試験時間

1時限目	10:20～11:30(70分)	国語
2時限目	13:00～14:10(70分)	英語

\*当日は、9:50までに所定の試験室に入室してください

## 出願資格

次のいずれかに該当する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2025年2月3日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

# 一般選抜(後期日程)

インターネット出願 **インターネット** を  
ご利用ください。受験生のみなさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

## 入試制度の特徴・入試日程

### 01 学部・学科間で併願が可能

すべての学部・学科に出願できる併願制です。  
1回の受験で最大13の学部・学科に出願できます。  
共通テスト利用選抜(後期日程)との併願も可能です。

### 02 全学部、2科目で入試を実施

試験の結果と調査書で多面的・総合的に評価・判定します。  
試験科目は全学部共通で、英語と国語の2科目で実施します。

### 03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度(詳細は102ページ)



割引制度は、1度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。  
追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

## 配点

\*必ず2科目を受験してください

### 商学部

商学科/経営学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

### 人文学部

社会学科/教育学科/英語英文学科

英語 150点 + 国語 100点 = 250点満点

### 法学部

法律学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

### 経済科学部

現代経済学科/経済情報学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

### 人間環境学部

人間環境学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

### 健康科学部

心理学科/健康栄養学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

### 国際コミュニティ学部

国際政治学科/地域行政学科

英語 100点 + 国語 100点 = 200点満点

## 試験内容

受験	教科	試験科目	出題範囲	時間
必須	外国語	英語	英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II	70分
必須	国語	国語	現代の国語、言語文化(古文・漢文を除く)	70分

# 全学部共通事項

## 1. 試験地

広島修道大学(本学)キャンパス  
 <注>試験会場の下見はできませんが、建物内に入ることはできません。本学キャンパスの詳細については、39ページをご覧ください。

## 2. 選抜方法

英語、国語の合計得点および調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。  
 なお、筆記試験で合否ラインの得点帯の受験生については、調査書に記載される主体性に関する情報を評価して、筆記試験の得点に加点したうえで合否判定します。加点する点数は、0点・1点・2点の三段階で評価します。評価する調査書の記載事項は、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録(生徒会、学校行事の活動)、指導上参考となる諸事項(学習における特徴等、行動の特徴、特技等、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等、取得資格・検定、表彰・顕彰等の記録)等です。

## 3. 入学検定料

1出願で、27,000円です。2出願目以降は1出願追加毎にプラス10,000円となります。  
 (1回の受験で最大13の学部・学科に出願可能)  
 共通テスト利用選抜(後期日程)を同時に出願すると、一般・共通テストセット割引の対象となり、入学検定料が2,000円割引されます。

\*提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。  
 \*前日程を受験された方で、補欠者の繰り上げ合格等により後期日程の受験をとりやめても、入学検定料は返還いたしません。

## 4. 出願期間・出願方法



出願は、インターネット出願「シュューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願期間】2025年2月13日(木)～2月25日(火)※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1)シュューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
  - (2)入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
  - (3)出願書類を郵送する:出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください(締切日消印有効)
- ※シュューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

\*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

### 【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 5. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願ページ「シュューダイレクト」の「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。  
 シューダイレクトからダウンロードする出願書類はすべてA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。  
**写真票はカラー印刷**し、当日持参してください。

- (1)出願シート
- (2)出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)

※後期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通で結構です。  
 ただし、一度郵送した後に追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。  
 ※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。合格証書ではありませんのでご注意ください。  
 ※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

## 6. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上の配慮および入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年2月3日(月)までに本学入学センターにお問い合わせください。

## 7. 感染症(インフルエンザなど)について

試験日当日に感染症(インフルエンザやはしかなど)にかかっている場合は受験できません。詳細は109ページを参照してください。

## 8. 合格発表

### (1) 合格発表日:2025年3月8日(土)10:00(予定)

合格者に「合格通知書」と「入学書類類」を速達で郵送します。  
 なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、3月12日(水)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

### (2) 合否確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの合否照会画面から合否結果を確認することができます。詳細については110ページを確認してください。

### (3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合、以下の要領で追加合格を通知します。

- 1回目:2025年3月25日(火)10:00～(予定)
- 2回目:2025年3月29日(土)10:00～(予定)

追加合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

#### 【注意点】

- ①本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。
- ②追加合格は、欠員が充足した時点で終了します。

\*「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。  
 \*合格発表および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。

## 9. 入学試験成績(一般選抜)の開示について

本学では、希望者(受験者本人)に対して、入学試験の成績を次のように開示します。

- (1)受付期間/2025年4月7日(月)～4月18日(金)
- (2)開示する入試制度および内容  
 <一般選抜> 個人入試科目別(選択科目得点調整後)成績
- (3)開示対象者  
 一般選抜を受験して不合格となった者
- (4)開示手続きについて
  - ①入試成績開示申請の受付  
 成績開示希望の旨を上記期間内に、本学入学センターに申し出てください。申し出を受けて、本学より「入試成績開示申請書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ、上記期間内に提出してください。  
 郵送で提出する場合、封筒に「入試成績開示申請書在中」と明記し、本学入学センター宛に郵送してください。締切日必着ですので、郵送に要する日数を確認し、申し出てください。受付期間最終日またはその前日に申し出た場合、開示ができなくなることがあります。
  - ②入試成績の開示  
 入試成績開示を許可した者に、「入試成績開示決定通知書」を発送します。  
 入試成績開示は、受験生本人(代理は不可)であることを確認のうえ、本学(入学センター)で行います。  
 受験票および本人が確認できる書類を持参してください。

受験上の注意は109ページを参照してください。



# 共通テスト利用選抜 (後期日程)

## 試験日・出願期間

学部 学科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間《手続選択制》	
				一括手続	分割手続
全学部 全学科	<b>eシェアダイレクト</b> 《インターネット出願受付》 2025年 2/13(木)～2/25(火) ※出願初日のみ8:45～ 受付開始 ※最終日の登録は15:00まで、 検定料入金は16:00まで 締切日消印有効	※本学での個別学力 検査はありません  大学入学共通テスト 2025年 1/18(土)・1/19(日) 締切日消印有効	2025年 3/8(土)	2025年 3/10(月)～ 3/17(月) 締切日消印有効	《第1次入学手続》 2025年 3/10(月)～ 3/17(月)  《第2次入学手続》 2025年 3/18(火)～ 3/24(月) 締切日必着

## 出願資格

次のいずれかに該当する者で令和7年度大学入学共通テスト(2025年1月18日(土)、19日(日)に実施)において本学が指定する教科・科目を受験する者

- 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。この出願資格については2025年2月3日(月)までに本学入学センターへ問い合わせてください。ただし、高等学校卒業程度認定試験の合格者(合格見込者)または大学入学資格検定の合格者については問い合わせの必要はありません。

インターネット出願 **eシェアダイレクト** を  
ご利用ください。受験生のみなさんの出願にかかる時間と費用の負担を軽減します。

## 入試制度の特徴・入試日程

1月に実施される大学入学共通テストの成績と調査書で多面的・総合的に評価・判定する入試です。  
**本学での個別学力検査はありません。**2月中旬から出願が始まるため、それまでの受験結果に応じての出願が可能です。  
 一般選抜(後期日程)との併願も可能です。

### 01 大学入学共通テストの成績を利用

大学入学共通テストに出願し、2025年1月18日(土)・19日(日)に実施される試験を受験してください。  
**大学入学共通テストにおいて、必ず本学が指定した科目を受験してください。**

### 02 全学部・学科の併願が可能

7学部13学科すべての学部・学科で併願が可能です。(最大13出願可能)

### 03 経済的負担を大幅に軽減する検定料割引制度

<b>複数出願割引</b> 2出願目から割引されます	1出願のみ 15,000円	→	1出願追加毎に +5,000円	<b>最大13 出願可能</b>
<b>一般・共通テストセット割引</b> 一般選抜(後期日程)を 同時に <b>出願</b> すると割引されます	一般選抜 (後期日程)	+	共通テスト利用選抜 (後期日程)	<b>2,000円 割引</b>

割引制度は、一度の出願登録で、複数出願する場合のみ適用されます。  
 追加で出願した場合、既に登録済みの出願内容と合わせた割引は適用されません。

## POINT みなし得点

**「英語」の資格・検定試験で基準を満たせば、「英語」の得点を満点の8割または満点にします。**

本学が指定する**英語資格を取得していれば、スコア・級に応じて「大学入学共通テストの英語の得点」に換算。**  
 合否判定には、**大学入学共通テストの英語の得点と、みなし得点のいずれかが高い方の得点を使用します。**  
 英語の資格検定を利用する場合、共通テストの「英語」の受験は任意とし、受験していない場合は、みなし得点を合否判定に使用します。

### 英語資格の得点換算表

実施主体名	資格・検定試験名	満点の8割	満点
日本英語検定協会	実用英語技能検定(英検)	2級	準1級以上
	英検CSEスコア	1,980点以上	2,304点以上
	TEAP	225点以上	309点以上
	TEAP CBT	420点以上	600点以上
ベネッセコーポレーション	GTEC(4技能)※(CBTタイプも可)	930点以上	1,180点以上
国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC(L&R)+TOEIC(S&W)	1,150点以上	1,560点以上
Educational Testing Service	TOEFL iBT	42点以上	72点以上
ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定	140点以上	160点以上
ブリティッシュ・カウンシル	IELTS(アカデミック・モジュール)	4.0以上	5.5以上

※GTEC(4技能)はオフィシャルスコアに限る。また、2023年3月以前に取得したスコアで申請する場合は、960点以上で満点の8割、1,190点以上で満点とする。

旧教育課程履修者への経過措置について:令和7年度大学入学共通テストで、経過措置として出題される旧教育課程科目を使用できることとします。

# 全学部・全学科

\*本学での個別学力検査はありません

## 配点

\*必ず指定された2科目を受験してください



## 試験内容

受験	教科	科目	配点	備考
必須	外国語	[英語][ドイツ語][フランス語][中国語][韓国語]	200点	[英語]はリーディング100点・リスニング100点 ※英語英文学科のみ、外国語は[英語]に限定する
選択科目1科目	国語	[国語]近代以降の文章および古典(古文,漢文)	選択科目 1科目 200点	選択科目を2科目以上受験していた場合は、 最高得点科目の得点を合否判定に使用する (100点の科目は200点に換算)
	地理歴史・公民	[地理総合,地理探究] [歴史総合,日本史探究] [歴史総合,世界史探究] [公共,倫理][公共,政治・経済] [地理総合/歴史総合/公共]		
	数学①	[数学I,数学A][数学I]		
	数学②	[数学II,数学B,数学C]		
	理科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎] [物理][化学][生物][地学]		
	情報	[情報I]		
合計			「外国語」+「選択科目1科目」の2科目合計 400点満点	

# 全学部共通事項

## 1. 選抜方法

大学入学共通テストの得点および調査書を資料として多面的・総合的に評価・判定します。

## 2. 入学検定料

1出願で15,000円です。2出願目以降は、1出願追加毎にプラス5,000円となります。  
※全学部・学科に併願可能です。  
一般選抜(後期日程)を同時に出願すると、一般・共通テストセット割引の対象となり、入学検定料が2,000円割引になります。

(例) 2出願	20,000円
3出願	25,000円

\*提出された書類および納入された入学検定料は、いかなる理由があろうとも返還いたしません。  
\*前期日程を受験された方で、補欠者の繰り上げ合格等により後期日程の受験をとりやめても、入学検定料は返還いたしません。

## 3. 出願期間・出願方法



出願は、インターネット出願「シューダイレクト」でのみ受け付けます。

【出願受付期間】2025年2月13日(木)～2月25日(火) ※出願初日のみ8:45～受付開始

- (1) シューダイレクトで出願登録する(最終日の登録締切時間は15:00)
  - (2) 入学検定料を納入する(最終日の入学検定料入金締切時間は16:00)
  - (3) 出願書類を郵送する: 出願書類は入学検定料の入金後、速達・簡易書留で早急に郵送してください(締切日消印有効)。
- ※シューダイレクトでの出願方法および入学検定料のお支払いについては、101～108ページを参照してください。

\*出願書類に不備がある場合は、受け付けないことがありますので注意してください。

## 【受験生氏名等の漢字表記について】

本学では、入学試験に際して発行する受験票・合格通知書類の漢字氏名等の表記方法について、基準を設けております。その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 4. 出願書類

出願書類は、入学検定料の支払い後にインターネット出願ページ「シューダイレクト」の「マイページ」画面の「出願確認に進む」から印刷できます。シューダイレクトからダウンロードする出願書類はすべてA4サイズで印刷し、速達・簡易書留で郵送してください。

- (1) 出願シート(所定欄に大学入学共通テスト成績請求票を貼付) ※カラー印刷
  - (2) 出身学校調査書(出願前3カ月以内に発行し、厳封してください)
  - (3) 資格・検定等の証明書(写)(英語資格を利用する方のみ)
- ※後期日程で複数の入試制度、学科を受験する場合でも、出身学校調査書は1通で結構です。  
ただし、一度郵送した後追加で出願する場合は、新たに1通郵送してください。  
※高等学校卒業程度認定試験の合格者(または合格見込みの者)は「合格(成績)証明書」または「合格見込成績証明書」を郵送してください。  
合格証書ではありませんのでご注意ください。  
※出身学校調査書の保存期間が経過した場合および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書(原本)を郵送してください。

## 5. 障がいなどのある志願者の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、入学後の支援を希望する場合、出願に先立ち2025年2月3日(月)までに本学入学センターに問い合わせてください。  
大学入学共通テストの英語について、受験上の配慮申請により「リスニング」を免除された場合は、「リーディング」の得点を「リスニング」の得点に換算します。この場合も、本学入学センターにご連絡ください。

## 6. 合格発表

### (1) 合格発表日: 2025年3月8日(土) 10:00(予定)

合格者に「合格通知書」と「入学手続書類」を速達で郵送します。  
なお、合格通知書等は、合格発表日に発送しますが、郵便事情により遅れる場合があります。以下(2)で合格を確認したうえで、3月12日(水)を過ぎても届かない場合は本学入学センターまで連絡してください。

### (2) 合否確認の補助手段について

出願の際に登録したマイページの合否照会画面から合否結果を確認することができます。詳細については110ページを確認してください。

### (3) 合格者の入学手続の状況により欠員の発生が想定される場合、以下の要領で追加合格を通知します。

- 1回目: 2025年3月25日(火) 10:00～(予定)
- 2回目: 2025年3月29日(土) 10:00～(予定)

追加合格候補者に、本学から電話連絡し、入学の意思を確認します。

#### 【注意点】

- ① 本学からの電話連絡を確実に受けられるようにしておいてください。本学からの電話連絡の際、不在等のため本人の入学の意思確認ができなかった場合や、すみやかに入学の意思を表明しなかった場合は、いかなる理由があろうとも入学の意思がないものとして取り扱います。
- ② 追加合格は、欠員が充足した時点で終了します。

\*「合格通知書」等の不着および遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。  
\*合格発表および追加合格に関するお問い合わせには、いかなる理由があろうとも一切応じられません。